

### 3. 事業報告書

## 事業報告書

令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

### 1. 令和3年度の総括

我が国の農業は、担い手不足や高齢化による労働力の減少を補う機械化への投資や輸入資材の高騰による経費の増高に加え、人口減少に伴う国内市場の縮小及び輸入農畜産物との競争による価格低迷、さらに昨年来の新型コロナ禍により外食産業等を中心に農畜産物の販売高は激減し、特に本道が主産である米、砂糖、生乳などの需要の落ち込みが著しく、以前にも増して厳しい状況にあります。

また、近年は地震、台風、集中豪雨などの異常災害が頻発し、農産物の収穫量の減少や農家収入の減収など農業経営に大きな損失を与えております。このようなリスクに対して、「農業保険法」における「農業経営収入保険制度」及び「農業共済制度」を担うNOSA I団体は、農業者が農業保険に加入することで「備えあれば憂いなし」の農業生産体制を構築できるよう、農業保険への加入推進に組織を挙げて積極的に取り組み、関係機関とも連携を深め、戸別推進等による加入推進に努めながら、農業共済事業にあっては、被害及び事故に対する共済金の支払いに万全を期し、組合員の経営安定に寄与したところであります。

昨年の道内は、融雪が早く、4月から5月は概ね平年並の天候で推移し、6月以降は高温・少雨・多照傾向であったことから、概ね好天で推移した年となりました。

水稻では6月に一部地域で低温となり、莖数不足となった圃場も一部で見られましたが、全般的に高温・多照傾向で推移したことから、穂数は平年並、一穂あたりの粒数は平年並、登熟も順調に推移し、作柄も「良」となりました。麦では融雪が早く、その後の天候も順調に推移したことから、雪腐病は平年より少なく、コムギなまぐさ黒穂病の発生も少なかったこともあり、被害は通常災害の範囲に収まりました。畑作物では、令和2年産は、いんげんで8月下旬以降の長雨による色流れ被害がありました。令和3年産は、春先からの高温・少雨の影響により、ばれいしょ、たまねぎ、かぼちゃで肥大不足となり、いんげんで着莢不足、そばで結実不良や子実の肥大不足の被害がありましたが、その他の作物では平年並の作柄となりました。果樹では、りんごで10月下旬の降雹による被害がありました。園芸施設では、1月以降の暴風雪により施設の倒壊等が相次ぎ、前年度を上回る被害となりました。

この結果、家畜共済を除く共済金は58億3,055万円（水稻2億1,299万円（2年産水稻青色申告調査等による被害を含む）、麦12億6,060万円、畑作物40億409万円（2年産出荷数量等調査・青色申告書等調査による全相殺方式、地域インデックス方式による被害を含む）、果樹91万円、園芸施設3億5,196万円）の支払いとなり、家畜共済については、前年に比べて死廃事故件数は増加し、病傷事故件数は減少したものの、育成・肥育牛の死廃事故頭数が減少したため、死廃・病傷の支払共済金は前年度を下回り、支払共済金の総額は287億1,694万円となりました。

#### (1) 農業保険事業の引受拡大と制度機能の活用推進

共済加入資源の把握に努め、収入保険制度及び農業共済制度への加入要件を網羅した農業者リストの作成を行うとともに、未加入要因の詳細な分析を行い、組合員に対して制度の仕組みや見直し内容等について十分な説明による継続引受の確保と新規引受の拡大を図り、制度機能の活用を推進しました。

また、未加入者全戸に対する加入意思の確認と加入拡大を行うとともに、組合員ごとに適用する危険段階区分を円滑に設定しました。

#### (2) 農業保険事業の適正実施

法令・定款・事業規程・要綱及び要領等に基づく適正な業務処理を徹底し、各農業保険の加入勧奨にあたっては「金融商品販売法」及び「個人情報保護法」を遵守するとともに、「保険法」に基づく告知義務や契約締結時の書面交付等の取扱いを履行し、農家をはじめ社会的にも信頼される事業運営に取り組みました。

特に、収入保険制度については、個人情報を含む税務関係書類を取り扱うことから、その取扱いが適正に実施されるよう留意しました。

また、農業共済制度については、制度の仕組みや見直し内容等の理解を図るとともに、その適正な運用に取り組みました。

#### (3) 損害防止事業の効果的実施

農業生産技術の進展に伴い、その生産過程で発生するリスクの低減に寄与する損害防止用農業機械の貸付事業を円滑に進めるほか、関係機関との連携強化を図りながら効果的な損害防止事業を実施しました。

#### (4) 特定組合設立の準備と円滑始動体制の整備

特定組合設立に向け、各組合から選出された特定組合設立委員で構成する設立委員会を適宜開催し、定款・事業規程・諸規則の作成、事業計画・収支予算書の作成並びに設立認可申請手続きを行い、北海道知事から3月17日付で組合合併の認可を得ました。

また、特定組合における円滑な事業等の実施を目指すため、組織の基礎となる職員に対して、「人材育成ビジョン」として目指すべき指標を示し、その根幹をなす「人事評価実施要領」の整備を行いました。

事業関連では、新たに稼働する事務機械化システムの構築・試験実施を行い、地区別懇談会等においては特定組合に移行することを組合員等への周知を行いました。

#### (5) 組織運営基盤の整備強化

組合のコンプライアンス態勢及び各種リスク管理態勢の一層の強化を図るため、組合の内部監査を積極的に実施するとともに、特に他府県で発生した不祥事案件等に対しては同様の不祥事案が発生しないよう連合会と組合による共同監査を実施しました。

また、事業運営基盤の強化を支援するため、組織運営の要である人材育成の支援を目的とした研修会を、新型コロナウイルス感染防止に配慮してTV会議等により開催しました。

## 2. 農作物共済

### (引受関係)

#### (1) 水 稲

米の需要量情報による作付見込み及び収入保険への移行を加味した引受計画を設定しましたが、作付面積が引受計画算定時より想定以上に減少したため、前年より21,279ha減の63,609haとなり、有資格面積に対する引受率は93.9%、事業計画面積65,800haに対して2,191ha下回りました。総共済金額は、引受面積の減少等により、前年より24億9,430万円減の671億8,846万円となりました。

#### (2) 麦

前年より5,032ha減の110,960haとなり、有資格面積に対する引受率は99.2%、事業計画面積110,400haに対して560ha上回りました。総共済金額は、引受面積の減少及び単位当たり価格の低下により、前年より63億6,670万円減の827億6,405万円となりました。

令和4年産秋播小麦の引受面積は、前年産より348ha増の95,717haとなりました。

### (被害及び損害評価関係)

#### (1) 水 稲

は種作業は平年並に始まり、移植作業は平年より1日早く終了しましたが、5月中から下旬の低温により、遅植えの圃場で苗の植え傷みが見られました。活着期は1日早まりましたが、分けつ始は平年並となりました。6月は好天で生育は順調に推移したことから7月1日現在の莖数は平年よりも多くなりました。幼穂形成期は1日早く、冷害危険期（7月中旬から下旬）の気温が高く推移したことから稔実障害は回避されました。また、7月中旬から高温で推移したことから、出穂期は平年より5日早くなり、出穂・開花も順調に進み、稔実歩合は平年並となりました。8月中旬以降の好天により登熟は順調に進み、成熟期は平年より7日早く、成熟期における穂数・一穂粒数は平年並、1㎡当たりの粒数は平年並からやや多くなりました。

被害は、移植後の6月及び開花期の8月に、低温・寡照による莖数不足が見られました。

また、8月に集中豪雨等による倒伏被害も散見されましたが、影響はごく一部に止まりました。

損害評価は、年度内で判明しない青色申告書等調査による全相殺方式及び品質方式を除き、引受4組合中3組合で実施した結果、全組合が通常災害となりました。

青色申告書等調査を除いた支払共済金は3,238万円（金額被害率0.2%）となり、一筆方式及び半相殺方式の保険金9万円を11月29日、青色申告書等調査を除く全相殺方式、品質方式及び地域インデックス方式の保険金638万円を3月24日に支払いました。

#### (2) 麦

秋播小麦のは種作業は平年より1日早く出芽はやや良好となり、降雪量の多かった岩見沢方面を除き、少雪及び3月の記録的高温で融雪が平年より早く進んだことから起生期は3日早くなり、全道的に雪腐病による廃耕は少くなりました。起生期以降の気象は順調に推移し、幼穂形成期は2日早まりました。また、止葉期、出穂期とも

平年並に推移し、出穂期から成熟期までの登熟期間は3日短くなりました。また、成熟期の穂数は平年より多く、稈長はやや長く、穂長は平年並となりました。収穫作業は、平年より4日早く始まり、3日早く終了しました。収量は、全道平均で平年を上回りましたが、穂数過多や高温・少雨の影響を受けた圃場では細麦傾向となりました。品質面では、品質評価基準の適正範囲内に収まりました。

春播小麦については、少雪の影響により融雪が早かったことから、は種作業は平年より早くなり、出芽は平年並となりました。6月下旬以降は高温・多照であったことから、上川管内では、稈長は平年より短く穂長は平年並でしたが穂数は平年を下回りました。オホーツク管内では、稈長は平年並、穂長はやや長く穂数は平年並となり、全道的に収量は平年を上回りました。

二条大麦のは種作業は順調に進み、出芽も総じて良好でしたが、は種した粘質土壌の一部地域ではクラストの発生により出芽がばらつきました。5月は低温・寡照のため幼穂形成期は平年より遅れました。7月は晴天と高温が続いたため成熟期は平年より早くなり、草丈が長く長稈となりましたが、少雨のため倒伏は比較的少なくなりました。また、高温・少雨で登熟期間が短くなったため、千粒重は平年より軽く細麦傾向でしたが、穂数が多かったため、収量は平年を上回りました。

裸麦は、4月20日頃には種した圃場が、は種後の低温と断続的な降雨による土壌のクラスト化の影響で、極端な出芽率の低下が見られました。5月は低温・寡照のため幼穂形成期は前年より遅れました。6月の気温は高温で推移したことで、止葉期、出穂期ともに前年より遅れました。7月は好天と高温が続き、成熟期は前年より早まり、収量は平年を下回りました。

被害は、高温・少雨の影響により一部圃場で細麦による減収がありました。また、コムギなまぐさ黒穂病の発生が見られましたが、前年より減少しました。

損害評価は、引受5組合のうち全組合で実施した結果、全相殺方式の一部組合を除き、全ての組合において通常災害となりました。

支払共済金は12億5,499万円（金額被害率1.5%）となり、全相殺方式及び災害収入共済方式の保険金2億6,300万円を12月27日に支払いました。

農作物共済引受実績 (水 稲)

項目 組合名	引 受 方 式	組合員数	引 受 面 積		引 受 収 量	kg当たり 平 均 共済金額	基準生産金額	kg当たり 平 均 生産金額
			本 年 度	前年産対比 増減 (△)				
みなみ北海道	一 筆	戸 10	a 5,194	a △ 6,649	kg 172,867	円 111.91		
	半相殺	1,175	503,938	△ 184,176	19,956,846	183.71		
	全相殺	1,024	686,728	△ 272,286	32,797,360	200.23		
	品 質	33	31,946	△ 25,947			391,443,760	208.73
	地 域 インデックス	157	88,788	746	4,231,897	204.91		
	計	2,167	1,316,593	△ 488,311	57,158,970	194.54	391,443,760	208.73
北海道中央	半相殺	2	213	213	8,914	106.85		
	全相殺	1,455	599,688	△ 9,983	32,030,706	124.28		
	品 質	4,057	4,379,806	△ 1,621,498			56,810,136,664	217.50
	地 域 インデックス	26	17,466	14,020	838,024	210.00		
	計	4,624	4,997,173	△ 1,617,249	32,877,644	126.46	56,810,136,664	217.50
十 勝	半相殺	7	1,134	△ 49	35,798	210.00		
オホーツク	半相殺	9	4,185	△ 2,241	151,606	204.82		
	全相殺	18	11,490	149	554,161	207.26		
	品 質	59	30,373	△ 20,150			337,003,224	193.81
	計	86	46,048	△ 22,242	705,767	206.73	337,003,224	193.81
合 計	一 筆	10	5,194	△ 6,649	172,867	111.91		
	半相殺	1,193	509,470	△ 186,252	20,153,164	183.88		
	全相殺	2,497	1,297,907	△ 282,121	65,382,227	163.08		
	品 質	4,149	4,442,125	△ 1,667,594			57,538,583,648	217.28
	地 域 インデックス	183	106,253	14,766	5,069,921	205.76		
	計	6,884	6,360,949	△ 2,127,850	90,778,179	169.98	57,538,583,648	217.28
前 年 産 実 績		8,704	8,488,799	△ 742,626	113,651,943	188.48	78,585,375,723	210.21

(注) 1. 計は、ラウンドの関係で積上げとは必ずしも一致しない。

2. 組合員数の計は、実組合員数を示す。

3. 有資格面積は収入保険移行者を除いた面積を示すが、ラウンドの関係で「引受面積/有資格面積」が100%を超える場合もある。

共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	総共済掛金	農家負担掛金	徴収保険料	有資格 面積	引受面積 有資格 面積
円	円	円	円	円	円	ha	%
19,345,185	19,202,081	35,767	185,786	92,897	62,211		
3,666,211,780	3,632,976,414	8,308,107	59,669,976	29,835,366	23,111,364		
6,566,928,483	6,500,934,282	16,497,837	126,876,227	63,438,454	45,251,145		
352,299,373	349,319,382	744,980	5,453,454	2,726,737	1,848,117		
867,176,793	860,828,275	1,587,053	8,453,551	4,226,811	3,309,057		
11,471,961,614	11,363,260,434	27,173,744	200,638,994	100,320,265	73,581,894	13,983	94.2
952,428	911,632	10,199	54,720	27,360	17,245		
3,980,903,179	3,922,165,625	14,683,559	93,023,385	46,512,105	26,094,524		
51,101,932,661	50,418,507,944	170,854,166	1,228,577,162	614,289,640	360,868,505		
175,985,040	174,550,343	358,661	2,965,249	1,482,632	1,096,070		
55,259,773,308	54,516,135,544	185,906,585	1,324,620,516	662,311,737	388,076,344	53,301	93.8
7,517,580	7,459,400	14,540	401,001	200,502	196,994	11	103.1
31,052,490	30,730,766	80,426	1,649,822	824,913	680,827		
114,853,920	112,906,515	486,841	10,054,073	5,027,043	3,964,888		
303,302,877	299,210,459	1,023,076	29,814,158	14,907,092	12,880,205		
449,209,287	442,847,740	1,590,343	41,518,053	20,759,048	17,525,920	468	98.4
19,345,185	19,202,081	35,767	185,786	92,897	62,211		
3,705,734,278	3,672,078,212	8,413,272	61,775,519	30,888,141	24,006,430		
10,662,685,582	10,536,006,422	31,668,237	229,953,685	114,977,602	75,310,557		
51,757,534,911	51,067,037,785	172,622,222	1,263,844,774	631,923,469	375,596,827		
1,043,161,833	1,035,378,618	1,945,714	11,418,800	5,709,443	4,405,127		
67,188,461,789	66,329,703,118	214,685,212	1,567,178,564	783,591,552	479,381,152	67,764	93.9
92,131,418,311	91,088,435,727	260,741,068	1,632,165,287	816,084,900	530,750,606	89,350	95.0

(参考) 納入再保険料 202,015,591円 (前年産296,086,955円)、手持保険料 277,365,561円 (前年産234,663,651円)、  
基準単収543kg (前年産549kg)

農作物共済引受実績 (表)

項目 組合名	引受 方式	組合員数	引受面積		引受収量	kg当たり 平均 共済金額	基準生産金額	kg当たり 平均 生産金額	
			本年度	前年産対比 増減(△)					
		戸	a	a	kg	円	円	円	
みなみ北海道	全相殺	203	163,749	△ 94,969	5,261,236	153.78			
	災害収入共済	1,168	1,067,602	△ 19,038			8,103,499,715	153.17	
	計	1,337	1,231,351	△ 114,007	5,261,236	153.78	8,103,499,715	153.17	
北海道中央	全相殺	53	63,281	△ 6,992	2,034,271	152.00			
	災害収入共済	3,444	2,801,643	△ 245,900			19,770,057,208	149.35	
	計	3,492	2,864,924	△ 252,892	2,034,271	152.00	19,770,057,208	149.35	
十勝	半相殺	1	39	39	695	20.00			
	全相殺	0	0	△ 1,571	0	0.00			
	災害収入共済	3,236	4,207,329	3,929			37,551,020,816	145.62	
	計	3,236	4,207,368	2,397	695	20.00	37,551,020,816	145.62	
北海道ひがし	半相殺	1	1,829	535	37,897	16.00			
	災害収入共済	23	30,868	△ 3,476			224,680,529	134.76	
	計	23	32,697	△ 2,941	37,897	16.00	224,680,529	134.76	
オホーツク	全相殺	140	40,742	37,072	1,298,212	170.00			
	災害収入共済	2,234	2,718,932	△ 172,779			24,850,796,820	143.82	
	計	2,234	2,759,674	△ 135,707	1,298,212	170.00	24,850,796,820	143.82	
合計	半相殺	2	1,868	574	38,592	16.07			
	全相殺	396	267,771	△ 66,460	8,593,719	155.81			
	災害収入共済	10,105	10,826,374	△ 437,264			90,500,055,088	146.53	
	計	10,322	11,096,013	△ 503,150	8,632,311	155.18	90,500,055,088	146.53	
	内訳	秋播小麦	9,765	9,505,127	△ 414,612	6,370,478	152.21	80,513,641,947	144.32
		春播小麦	3,243	1,384,849	△ 110,765	878,924	161.56	9,013,089,034	171.22
		二条大麦	352	162,366	△ 9,686	84,697	86.10	947,031,777	135.32
		裸麦	147	43,672	31,913	1,298,212	170.00	26,292,330	260.49
前年産実績		11,426	11,599,164	△ 128,537	10,957,566	155.44	97,168,351,859	154.81	

- (注) 1. 計は、ラウンドの関係で積上げとは必ずしも一致しない(以下、令和4年産秋播麦引受状況の表について同じ)。  
 2. 組合員数の計は、実組合員数を示す(以下、令和4年産秋播麦引受状況の表について同じ)。  
 3. 有資格面積は収入保険移行者を除いた面積を示すが、ラウンドの関係で「引受面積/有資格面積」が100%を超える場合もある。

共 済 金 額	保 険 金 額	通常歩合 保険金額	総共済掛金	農家負担掛金	徴収保険料	有資格 面積	引受面積 有資格 面積
円	円	円	円	円	円	ha	%
809,084,522	741,227,401	16,964,157	78,539,267	36,617,798	11,956,795		
7,271,959,551	6,652,807,252	154,787,270	610,848,869	285,099,919	58,969,528		
8,081,044,073	7,394,034,653	171,751,427	689,388,136	321,717,717	70,926,323	12,427	99.1
309,203,486	284,831,216	6,093,041	25,298,760	11,883,427	6,312,798		
17,789,035,488	16,336,356,754	363,167,457	1,248,875,381	586,536,620	249,245,138		
18,098,238,974	16,621,187,970	369,260,498	1,274,174,141	598,420,047	255,557,936	29,256	97.9
13,900	13,722	44	167	84	59		
0	0	0	0	0	0		
33,795,524,659	32,195,130,975	400,096,735	2,811,582,006	1,324,157,444	810,583,374		
33,795,538,559	32,195,144,697	400,096,779	2,811,582,173	1,324,157,528	810,583,433	42,150	99.8
606,352	590,829	3,880	46,889	22,085	18,049		
202,212,467	195,887,905	1,581,129	14,874,644	6,991,094	5,086,638		
202,818,819	196,478,734	1,585,009	14,921,533	7,013,179	5,104,687	327	100.0
220,696,040	202,334,119	4,590,402	18,044,042	8,589,026	4,365,725		
22,365,715,573	21,146,710,834	304,749,370	953,685,957	464,837,764	190,629,234		
22,586,411,613	21,349,044,953	309,339,772	971,729,999	473,426,790	194,994,959	27,710	99.6
620,252	604,551	3,924	47,056	22,169	18,108		
1,338,984,048	1,228,392,736	27,647,600	121,882,069	57,090,251	22,635,318		
81,424,447,738	76,526,893,720	1,224,381,961	5,639,866,857	2,667,622,841	1,314,513,912		
82,764,052,038	77,755,891,007	1,252,033,485	5,761,795,982	2,724,735,261	1,337,167,338	111,871	99.2
73,419,777,198			5,067,728,020	2,397,720,868		95,878	99.1
8,240,294,560			632,269,427	297,223,921		13,894	99.7
859,621,146			41,605,519	20,188,225		1,646	98.6
244,359,134			20,193,016	9,602,247		453	96.4
89,130,753,523	83,457,197,640	1,418,381,625	6,399,465,343	3,027,169,995	1,466,534,348	118,000	98.3

(参考) 連合会交付金額98,703,889円(前年産129,258,481円)、手持保険料1,435,871,227円(前年産1,595,792,829円)、  
基準単収358kg(前年産363kg)



農作物共済引受実績 (水稲・麦 計)

項目 組合名	組合員数	引 受 面 積		引 受 収 量	kg当たり 平 均 共済金額	基準生産金額	kg当たり 平 均 生産金額
		本 年 度	前年産対比 増減 (△)				
	戸	a	a	kg	円	円	円
みなみ北海道	2,840	2,547,944	△ 602,318	62,420,206	-	8,494,943,475	-
北海道中央	6,098	7,862,097	△ 1,870,141	34,911,915	-	76,580,193,872	-
十 勝	3,240	4,208,502	2,348	36,493	-	37,551,020,816	-
北海道ひがし	23	32,697	△ 2,941	37,897	-	224,680,529	-
オホーツク	2,266	2,805,722	△ 157,949	2,003,979	-	25,187,800,044	-
合 計	14,467	17,456,962	△ 2,631,001	99,410,490	-	148,038,638,736	-
前 年 産 実 績	16,765	20,087,963	△ 871,163	124,609,509	-	175,753,727,582	-

共 済 金 額	保 険 金 額	通常歩合 保険金額	総共済掛金	農家負担掛金	徴収保険料	有資格 面 積	引受面積 有資格 面 積
円	円	円	円	円	円	ha	%
19,553,005,687	18,757,295,087	198,925,171	890,027,130	422,037,982	144,508,217	26,410	96.5
73,358,012,282	71,137,323,514	555,167,083	2,598,794,657	1,260,731,784	643,634,280	82,557	95.2
33,803,056,139	32,202,604,097	400,111,319	2,811,983,174	1,324,358,030	810,780,427	42,161	99.8
202,818,819	196,478,734	1,585,009	14,921,533	7,013,179	5,104,687	327	100.0
23,035,620,900	21,791,892,693	310,930,115	1,013,248,052	494,185,838	212,520,879	28,178	99.6
149,952,513,827	144,085,594,125	1,466,718,697	7,328,974,546	3,508,326,813	1,816,548,490	179,633	97.2
181,262,171,834	174,545,633,367	1,679,122,693	8,031,630,630	3,843,254,895	1,997,284,954	207,350	96.9

令和4年産秋播麦引受状況

項目 組合名	引受 方式	組員数	引受面積		引受収量	kg当たり 平均 共済金額	基準生産金額	kg当たり 平均 生産金額
			本年度	前年産対比 増減(△)				
		戸	a	a	kg	円	円	円
みなみ北海道	全相殺	90	68,372	△ 55,434	2,323,873	155.35		
	災害収入共済	994	805,526	67,132			6,253,809,405	143.75
	計	1,084	873,898	11,699	2,323,873	155.35	6,253,809,405	143.75
北海道中央	全相殺	44	64,145	5,142	2,057,765	156.55		
	災害収入共済	2,869	2,135,296	△ 92,010			15,463,223,604	142.50
	計	2,913	2,199,440	△ 86,867	2,057,765	156.55	15,463,223,604	142.50
十勝	災害収入共済	3,185	4,203,199	77,686			34,283,878,188	139.25
北海道ひがし	災害収入共済	22	30,471	324			233,168,950	132.67
オホーツク	全相殺	2	1,300	1,300	37,467	111.00		
	災害収入共済	2,147	2,263,352	30,613			20,466,045,263	135.67
	計	2,147	2,264,652	31,913	37,467	111.00	20,466,045,263	135.67
合計	全相殺	136	133,816	△ 48,991	4,419,105	155.53		
	災害収入共済	9,217	9,437,844	83,746			76,700,125,410	139.25
	計	9,351	9,571,661	34,754	4,419,105	155.53	76,700,125,410	139.25
前年産実績		9,832	9,536,906	△ 392,460	6,448,232	151.56	80,727,608,860	143.02

(注) 前年産実績は令和3年3月31日現在の数値である。

(令和4年3月31日現在)

共済金額	保険金額	通常歩合 保険金額	総共済掛金	農家負担掛金	徴収保険料
円 361,017,301	円 332,164,942	円 7,213,046	円 37,608,473	円 17,526,249	円 7,189,559
5,615,292,609	5,213,014,493	100,569,024	451,788,391	211,439,411	67,622,151
5,976,309,910	5,545,179,435	107,782,070	489,396,864	228,965,660	74,811,710
322,144,288	294,702,783	6,860,351	35,280,458	16,477,683	6,654,670
13,914,708,803	12,865,278,484	262,356,141	1,062,461,399	498,297,522	120,246,271
14,236,853,091	13,159,981,267	269,216,492	1,097,741,857	514,775,205	126,900,941
30,855,106,252	29,656,488,225	299,652,902	2,384,111,581	1,122,918,563	750,857,313
209,852,044	203,371,251	1,620,185	18,152,426	8,513,497	4,831,474
4,158,837	3,922,615	59,054	335,367	159,636	83,513
18,419,439,817	17,576,794,085	210,660,356	761,364,762	371,547,084	90,522,802
18,423,598,654	17,580,716,700	210,719,410	761,700,129	371,706,720	90,606,315
687,320,426	630,790,340	14,132,451	73,224,298	34,163,568	13,927,742
69,014,399,525	65,514,946,538	874,858,608	4,677,878,559	2,212,716,077	1,034,080,011
<b>69,701,719,951</b>	<b>66,145,736,878</b>	<b>888,991,059</b>	<b>4,751,102,857</b>	<b>2,246,879,645</b>	<b>1,048,007,753</b>
73,620,042,396	69,370,348,704	1,062,418,500	5,079,957,034	2,403,559,371	1,217,276,022

農作物共済被害状況 (令和2年産 水稻)

項目 組合名	引受 方式	被 害 組 合 員 数	被害面積	共 済 減 収 量	生産金額 の減少額	共 済 金	保 険 金	金 額 被 害 率
		戸	a	kg	円	円	円	%
みなみ北海道	全相殺(青申)	17	19,844	102,402		20,480,400	4,096,080	0.5
	品質(青申)	0	0		0	0	0	0.0
	計	17	19,844	102,402	0	20,480,400	4,096,080	0.5
北海道中央	全相殺(青申)	41	21,967	116,166		12,439,072	2,529,410	1.1
	品質(青申)	233	206,368		147,686,229	147,686,229	29,537,246	0.3
	計	266	228,335	116,166	147,686,229	160,125,301	32,066,656	0.3
オホーツク	全相殺(青申)	0	0	0		0	0	0.0
	品質(青申)	0	0		0	0	0	0.0
	計	0	0	0	0	0	0	0.0
合 計	全相殺(青申)	58	41,810	218,568		32,919,472	6,625,490	0.7
	品質(青申)	233	206,368		147,686,229	147,686,229	29,537,246	0.2
	計	283	248,178	218,568	147,686,229	180,605,701	36,162,736	0.3
前年産実績		891	894,168	161,970	603,762,251	620,142,934	124,028,587	1.0

(注) 前年産実績は青色申告書等調査による全相殺方式および品質方式の計である。

農作物共済被害状況 (令和3年産 水稻)

項目 組合名	引受 方式	被 害 組 合 員 数	被害面積	共 済 減 収 量	生産金額 の減少額	共 済 金	保 険 金	金 額 被 害 率	
		戸	a	kg	円	円	円	%	
みなみ北海道	一 筆	1	50	468		47,790	9,558	0.2	
	半 相 殺	2	583	5,581		415,485	83,097	0.0	
	全相殺(青申以外)	11	2,272	20,251		3,863,020	772,604	0.1	
	品質(青申以外)	0	0		0	0	0	0.0	
	地域インデックス	1	21		226		47,460	9,492	0.0
	計	15	2,926	26,526		0	4,373,755	874,751	0.1
北海道中央	半 相 殺	0	0	0		0	0	0.0	
	全相殺(青申以外)	57	14,296	55,432		9,129,700	1,825,940	0.4	
	品質(青申以外)	33	13,148		18,785,691	18,785,691	3,757,138	0.2	
	地域インデックス	0	0	0		0	0	0.0	
計	90	27,444	55,432	18,785,691	27,915,391	5,583,078	0.2		
十 勝	半 相 殺	0	0	0		0	0	0.0	
オホーツク	半 相 殺	0	0	0		0	0	0.0	
	全相殺(青申以外)	0	0	0		0	0	0.0	
	品質(青申以外)	1	52		95,453	95,453	19,090	0.0	
計	1	52		0	95,453	95,453	19,090	0.0	
合 計	一 筆	1	50	468		47,790	9,558	0.2	
	半 相 殺	2	583	5,581		415,485	83,097	0.0	
	全相殺(青申以外)	68	16,568	75,683		12,992,720	2,598,544	0.2	
	品質(青申以外)	34	13,200		18,881,144	18,881,144	3,776,228	0.2	
	地域インデックス	1	21		226		47,460	9,492	0.0
	計	106	30,422	81,958	18,881,144	32,384,599	6,476,919	0.2	
前年産実績		103	47,968	49,463	27,642,155	35,104,675	7,020,934	0.1	

(注) 前年産実績は青色申告書等調査による全相殺方式および品質方式を除いたものである。

農作物共済被害状況 (令和2年産 表)

組合名	項目	引受方式	被害	被害面積	共済減収量	生産金額の減少額	共済金	保険金	金額被害率
			組合員数						
十勝		全相殺計	戸	a	kg	円	円	円	%
			1	1,571	32,809		5,610,339	5,330,266	64.1
			1	1,571	32,809		5,610,339	5,330,266	64.1

(注) 出荷量判明時期が遅延したため、令和3年度の支払となる。

農作物共済被害状況 (令和3年産 表)

組合名	項目	引受方式	被害	被害面積	共済減収量	生産金額の減少額	共済金	保険金	金額被害率	
			組合員数							
みなみ北海道		全相殺 災害収入共済計	戸	a	kg	円	円	円	%	
			53	30,044	225,118		35,094,641	7,018,928	4.3	
			301	217,617		219,006,169	218,744,987	43,748,997	3.0	
			353	247,661	225,118	219,006,169	253,839,628	50,767,925	3.1	
北海道中央		全相殺 災害収入共済計	12	25,004	304,195		44,796,272	20,965,830	14.5	
			1,197	694,445		657,023,861	657,023,861	131,404,772	3.7	
			1,209	719,449	304,195	657,023,861	701,820,133	152,370,602	3.9	
十勝		半相殺 災害収入共済計	0	0	0		0	0	0.0	
			70	76,112		109,430,280	109,430,280	21,886,056	0.3	
			70	76,112	0	109,430,280	109,430,280	21,886,056	0.3	
北海道ひがし		半相殺 災害収入共済計	0	0	0		0	0	0.0	
			2	2,074		778,348	778,348	155,669	0.4	
			2	2,074	0	778,348	778,348	155,669	0.4	
オホーツク		全相殺 災害収入共済計	26	7,256	76,784		13,053,280	2,610,656	5.9	
			269	188,011		176,067,255	176,067,255	35,213,451	0.8	
			289	195,267	76,784	176,067,255	189,120,535	37,824,107	0.8	
合計		半相殺 全相殺 災害収入共済計	0	0	0		0	0	0.0	
			91	62,304	606,097		92,944,193	30,595,414	6.9	
			1,839	1,178,259		1,162,305,913	1,162,044,731	232,408,945	1.4	
			1,923	1,240,563	606,097	1,162,305,913	1,254,988,924	263,004,359	1.5	
	内訳			秋播小麦	1,240	887,592	468,389	797,867,171	867,634,370	1.2
				春播小麦	778	301,918	55,740	323,784,484	332,902,974	4.0
				二条大麦	98	42,576	5,184	39,170,922	39,914,964	4.6
				裸麦	28	8,476	76,784	1,483,336	14,536,616	5.9
	前年産実績			2,635	1,978,228	783,110	1,748,365,329	1,870,784,155	403,990,571	2.1

(注) 前年産実績には十勝全相殺方式分を含んでいる。

農作物共済被害状況 (令和3年産 水稻・麦 計)

組合名	項目	被害組合員数	被害面積	共済減収量	生産金額の減少額	共済金	保険金	金額被害率
みなみ北海道		戸	a	kg	円	円	円	%
		366	250,587	251,644	219,006,169	258,213,383	51,642,676	1.5
北海道中央		1,287	746,894	359,627	675,809,552	729,735,524	157,953,680	2.5
十勝		70	76,112	0	109,430,280	109,430,280	21,886,056	0.3
北海道ひがし		2	2,074	0	778,348	778,348	155,669	0.4
オホーツク		290	195,319	76,784	176,162,708	189,215,988	37,843,197	0.8
合計		2,015	1,270,985	688,055	1,181,187,057	1,287,373,523	269,481,278	1.2
前年産実績		2,722	2,026,196	832,573	1,776,007,484	1,905,888,830	411,011,505	1.1

(注) 1. 水稻青色申告書等調査による全相殺方式及び品質方式は、翌年度支払のため含まない。  
 2. 計と合計の被害組合員数は、実組合員数を示す。  
 3. 計と合計の被害面積は、ラウンドの関係で積み上げとは必ずしも一致しない。

農作物共済保険金支払実績 (令和2年産)

再保険区分	項目 引受方式		支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金
					再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
				円	円	円	円	円	円	%
その他の 引受方式	麦	全相殺	令和3年 7月29日	5,330,266	0	5,330,266	0	0	0	100.0
その他の 引受方式	水稲	全相殺 (青申)	令和3年 7月29日 11月29日 令和4年 3月24日	6,625,490	0	6,625,490	0	0	0	100.0
品質方式	水稲	品 質 (青申)	令和3年 7月29日 令和4年 3月24日	29,537,246	0	29,537,246	0	0	0	100.0
合 計				41,493,002	0	41,493,002	0	0	0	100.0

農作物共済共済金支払実績 (令和2年産組合別)

共済目的	項目 組合名		支払月日	実支払 共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
					保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
				円	円	円	円	円	円	%
水稲	みなみ北海道		令和3年 7月29日 11月29日	20,480,400	4,096,080	16,384,320	0	0	0	100.0
	北海道中央		令和3年 7月30日 12月28日	160,125,301	32,066,656	128,058,645	0	0	0	100.0
	十勝			-	-	-	-	-	-	
	北海道ひがし									
	オホーツク				-	-	-	-	-	
	計		-		180,605,701	36,162,736	144,442,965	0	0	0
麦	十勝		令和3年 7月30日	5,610,339	5,330,266	280,073	0	0	0	100.0
	計			5,610,339	5,330,266	280,073	0	0	0	100.0
合 計				186,216,040	41,493,002	144,723,038	0	0	0	100.0

農作物共済保険金支払実績 (令和3年産)

再保険区分	項目 引受方式		支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金
					再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
その他の 引受方式	水 稲	一 筆	令和3年 11月29日	円 9,558	円	円	円	円	円	%
		半 相 殺	令和3年 11月29日	83,097						
		全 相 殺	令和4年 3月24日	2,598,544						
	麦	地 域 インデックス	令和4年 3月24日	9,492	0	33,296,105	0	0	0	
		半 相 殺		0						
		全 相 殺	令和3年 12月27日	30,595,414						
	計			33,296,105						
品質方式	水稲	品 質	令和4年 3月24日	3,776,228	0	3,776,228	0	0	0	100.0
災害収入 共済方式	麦	災害収入共済	令和3年 12月27日	232,408,945	0	232,408,945	0	0	0	100.0
合 計				269,481,278	0	269,481,278	0	0	0	100.0

農作物共済保険金支払実績 (合計)

再保険区分	項目 引受方式		支払月日	支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金
					再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他	
合 計				円 310,974,280	円 0	円 310,974,280	円 0	円 0	円 0	% 100.0

農作物共済共済金支払実績 (令和3年産組合別)

共済目的	項目 組合名		支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金	
					保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	その他		
水稲	みなみ北海道		令和3年 10月28日 11月29日 12月27日 令和4年 3月24日	円 4,373,755	円 874,751	円 3,499,004	円 0	円 0	円 0	% 100.0	
	北海道中央		令和4年 3月25日	27,915,391	5,583,078	22,332,313	0	0	0	100.0	
	十勝			-	-	-	-	-	-		
	北海道ひがし										
	オホーツク		令和3年 12月28日	95,453	19,090	76,363	0	0	0	100.0	
	計			-	32,384,599	6,476,919	25,907,680	0	0		
麦	みなみ北海道		令和3年 9月29日 12月27日	253,839,628	50,767,925	203,071,703	0	0	0	100.0	
	北海道中央		令和3年 12月28日	701,820,133	152,370,602	342,862,111	206,587,420	0	0	100.0	
	十勝		令和3年 12月27日	109,430,280	21,886,056	87,544,224	0	0	0	100.0	
	北海道ひがし		令和3年 12月27日	778,348	155,669	622,679	0	0	0	100.0	
	オホーツク		令和3年 12月28日	189,120,535	37,824,107	151,296,428	0	0	0	100.0	
	計			-	1,254,988,924	263,004,359	785,397,145	206,587,420	0	0	100.0
合 計				-	1,287,373,523	269,481,278	811,304,825	206,587,420	0	0	100.0



(損害防止関係)

<組合>

項目 組合名	実施種目	実施期日	貸付台数等	重点事項	経費概算 千円
みなみ 北海道	防除等機械 貸付事業	令和3年4月 ～令和4年3月	44台	・防除機械による病虫害防除・園芸施設内外の除雪	20,684
北海道 中央	〃	令和3年4月 ～11月	86台	・水稲自走式 ・麦、畑作用マウント式 ・麦、畑作用牽引式 ・ラジコンボート ・無人航空機（ヘリコプター/ドローン） ・レーザーレベラー ・堆肥散布機 ・温湯種子消毒機	44,196
		令和3年12月 ～令和4年3月	9台	・園芸施設用除雪機 ・融雪剤散布機	4,411
十勝	〃	令和3年5月	貸付対象 8共同 利用組織	・病虫害防除対策のために防除等機械を共同利用組織に貸付	33,532
オホーツク	〃	令和3年4月 ～令和4年3月	4台	・防除機械による病虫害防除、融雪剤散布	1,619
合 計	-	-	-	-	104,442

<連合会>

水稲の損害防止事業の効果的実施を支援するため、損害防止用農業機械の貸付事業を実施し、令和3年度は新規に7台を貸付して病虫害等による損害の未然防止に努めました。

(損害防止用農業機械の貸付状況)

共済事業名	種 別	令和3年度末 現在貸付台数	左のうち令和3年度 貸付台数	貸付 組合数
水 稲	自走式動力噴霧機	12 台	0 台	2 組合
	ラジコンボート	30	3	2
	無人ヘリコプター	3	0	1
	ドローン	10	3	1
	田植機	1	1	1
合 計		56	7	2

(注) 貸付組合数欄の合計は、実組合数を表す。

(防除等実績)

共済事業名	種 別	防除等実績			
		戸数	延面積	平均回数	防除等期間
水 稲	自走式動力噴霧機	17 戸	640 ha	3.4 回	6.10～8.24
	ラジコンボート	58	1,522	1.6	5.9～6.30
	無人ヘリコプター	60	1,539	3.0	7.19～8.21
	ドローン	13	627	2.9	6.1～8.20
	田植機	1	2	1.0	5.14
合 計		149			5.8～8.24

(注) 1. 本表は、令和3年度に貸付中の連合会貸付損害防止用農業機械に係る防除等実績である。

2. 戸数は、実戸数で合計は延べ戸数である。

### 3. 家畜共済

#### (引受関係)

総引受頭数は2,906,417頭となり、事業計画頭数2,845,600頭に対して60,817頭上回りました（計画対比102.1%）。このうち、死亡廃用共済では引受頭数1,913,324頭となり、事業計画頭数1,865,500頭に対して47,824頭上回り（計画対比102.6%）、疾病傷害共済では引受頭数993,093頭となり、事業計画頭数980,100頭に対して12,993頭上回りました（計画対比101.3%）。

総共済金額は5,229億7,034万円となり、内訳は死亡廃用共済が4,990億2,584万円、疾病傷害共済が239億4,450万円となりました。

#### (事故関係)

##### (1) 死廃事故

死廃事故頭数は、前年より3,239頭増の118,991頭（対前年比102.8%）となりました。内訳は搾乳牛が43,641頭、育成乳牛が34,576頭、繁殖用雌牛が1,782頭、育成・肥育牛が27,515頭、繁殖用雌馬が267頭、育成・肥育馬が172頭、種豚が156頭、特定肉豚が10,854頭、種雄畜が28頭となりました。特定肉豚において、前年より3,541頭増（対前年比148.4%）の10,854頭と大幅な増加となりました。

支払共済金は、育成・肥育牛の死廃事故頭数減少のため、前年より11億1,090万円減の184億9,170万円（対前年比94.3%）となりました。

##### (2) 病傷事故

病傷事故件数は、前年より11,329件減の718,821件（対前年比98.4%）となりました。内訳は乳用牛が631,428件、肉用牛が75,128件、一般馬が11,991件、種豚が139件、種雄畜が135件となりました。

支払共済金は、前年より8,543万円減の102億2,524万円（対前年比99.2%）となりました。

#### (家畜共済保険金支払実績)

支払財源184億714万円に対して、支払総額は177億1,289万円となりました。

支払保険金等	保 険 金 支 払 財 源			
	再保険金等	連 合 会 手 持 保 険 料		
		総 額	左 の 内 訳	
			本年度既経過額	前年度未経過額
円 17,712,888,242	円 1,137,391	円 18,405,999,952	円 16,716,449,379	円 1,689,550,573

(注) 1. 表中の「本年度既経過額」には家畜還付収入金及び雑利益を含み、「支払保険金等」には家畜還付支払金を含む。

2. 支払財源＝再保険金＋連合会手持保険料＋家畜還付収入金＋家畜支払備金戻入＋雑利益

支払総額＝保険金支払額＋家畜還付支払金＋家畜支払備金＋雑損失

家畜共済引受実績  
(家畜区分別引受頭数等)

区 分		項 目	組合数	組合員数	有資格頭数	事業計画頭数	引受頭数	引受頭数計画頭数	共済金額	保険金額
				戸	頭	頭	頭	%	円	円
死亡廃用共済		搾乳牛	5	5,056	478,645	604,627	617,246	102.1	193,106,888,590	154,484,744,014
		育成乳牛	5	5,103	354,195	571,842 (58,512)	570,765 (65,940)	99.8	145,234,645,829	116,187,763,520
		繁殖用雌牛	5	1,801	76,735	65,416	63,738	97.4	24,700,786,664	19,760,658,549
		育成・肥育牛	5	5,962	385,899	521,548 (57,081)	553,432 (106,548)	106.1	114,559,244,476	91,649,437,427
		繁殖用雌馬	5	936	12,164	9,069	8,991	99.1	7,638,324,236	6,110,659,370
		育成・肥育馬	5	867	13,449	11,660	10,688	91.7	12,075,737,139	9,660,589,703
		種 豚	4	30	51,135	7,111	7,336	103.2	418,888,903	335,111,121
		群単位肉豚	0	0	440,165	0	0	109.3	0	0
		特定肉豚	5	73		73,925	80,774		892,524,362	714,019,480
		乳用種牛	2	3	91	1	3	300.0	1,212,800	970,240
		肉用種牛	5	57	104	57	57	100.0	32,893,200	26,314,560
		種雄馬	5	294	417	244	294	120.5	364,695,900	291,756,720
		計	5	20,182	1,812,999	1,865,500	1,913,324	102.6	499,025,842,099	399,222,024,704
疾病傷害共済		乳用牛	5	5,240	832,840	792,178	797,140	100.6	21,069,608,158	16,855,685,944
		肉用牛	5	5,989	462,634	168,393	175,966	104.5	2,517,800,305	2,014,238,291
		一般馬	5	1,116	25,613	17,505	17,933	102.4	345,167,597	276,133,876
		種 豚	4	18	51,135	1,735	1,701	98.0	3,404,780	2,723,821
		乳用種牛	2	3	91	1	3	300.0	98,355	78,683
		肉用種牛	5	46	104	46	46	100.0	1,843,845	1,475,069
		種雄馬	5	304	417	242	304	125.6	6,571,520	5,257,168
	計	5	12,716	1,372,834	980,100	993,093	101.3	23,944,494,560	19,155,592,852	
合 計			5	32,898	3,185,833	2,845,600	2,906,417	102.1	522,970,336,659	418,377,617,556
前年度実績			5	33,209	3,124,848	2,784,000	2,855,194	102.6	541,476,120,002	433,180,891,685

(注) 1. 組合数は実組合数、組合員数は一般引受の戸数(肉豚の群単位は実戸数)である。  
2. 事業計画頭数は総頭数を示し、有資格頭数は、令和3年2月1日現在のNOSA I団体調査による。

再保険金額	総共済掛金	農家負担掛金	保険料 (徴収保険料)	共済掛金のうち 国庫負担分	再保険料	手持保険料
円	円	円	円	円	円	円
137,523,597,399	11,514,309,439	5,758,738,068	9,211,445,554	5,755,571,371	1,506,661	9,209,938,893
107,492,392,462	3,324,662,950	1,662,324,642	2,659,728,360	1,662,338,308	1,123,129	2,658,605,231
18,301,753,619	515,506,912	259,730,153	412,404,800	255,776,759	217,844	412,186,956
83,997,799,346	3,550,758,210	1,775,383,412	2,840,604,233	1,775,374,798	895,690	2,839,708,543
5,610,473,037	194,825,864	99,255,869	155,860,337	95,569,995	63,521	155,796,816
8,782,708,396	155,288,390	88,762,026	124,230,372	66,526,364	96,252	124,134,120
311,376,088	5,717,240	3,430,350	4,573,781	2,286,890	3,439	4,570,342
0	0	0	0	0	0	0
563,456,381	81,159,418	48,695,675	64,927,507	32,463,743	6,950	64,920,557
713,519	39,972	19,987	31,976	19,985	7	31,969
21,771,020	1,280,233	640,127	1,024,162	640,106	290	1,023,872
206,650,999	26,725,399	13,658,061	21,380,214	13,067,338	2,674	21,377,540
362,812,692,266	19,370,274,027	9,710,638,370	15,496,211,296	9,659,635,657	3,916,457	15,492,294,839
12,860,353,096	8,791,388,836	4,395,695,423	2,543,416,020	4,395,693,413	160,087	2,543,255,933
1,603,192,728	897,364,980	448,683,906	237,570,926	448,681,074	20,999	237,549,927
210,368,701	211,500,680	105,750,619	53,225,314	105,750,061	2,752	53,222,562
2,228,022	1,011,277	606,771	293,675	404,506	34	293,641
64,646	6,777	3,390	2,104	3,387	3	2,101
1,342,338	129,015	64,521	39,985	64,494	46	39,939
4,367,242	1,552,228	776,167	473,452	776,061	304	473,148
14,681,916,773	9,902,953,793	4,951,580,797	2,835,021,476	4,951,372,996	184,225	2,834,837,251
<b>377,494,609,039</b>	<b>29,273,227,820</b>	<b>14,662,219,167</b>	<b>18,331,232,772</b> (3,720,224,119)	<b>14,611,008,653</b>	<b>4,100,682</b>	<b>18,327,132,090</b>
391,202,824,690	28,921,129,176	14,488,493,323	18,439,453,844 (4,006,817,991)	14,432,635,853	4,209,724	18,435,244,120

3. 事業計画頭数及び引受頭数の下段（ ）内は、子牛等の頭数を示す。

4. 保険料の合計欄の下段（ ）内は、徴収保険料を示す。

## (地域別引受頭数等)

区分 地域名	事業計画 頭数	死 亡 廃 用 共 済					
		搾乳牛	育成乳牛	繁殖用 雌 牛	育成・ 肥育牛	繁殖用 雌 馬	育成・ 肥育馬
みなみ北海道	206,395	36,095	34,007	22,599	71,834	6,529	8,384
北海道中央	250,281	87,508	71,852	7,924	63,333	391	370
十勝	620,521	190,466	181,805	19,402	242,452	760	932
北海道ひがし	535,515	217,051	199,441	5,633	105,806	1,057	745
オホーツク	252,788	86,126	83,660	8,180	70,007	254	257
合 計	1,865,500	617,246	570,765	63,738	553,432	8,991	10,688
前年度実績	1,816,700	596,389	575,693	67,600	527,565	9,197	12,406

区分 地域名	事業計画 頭数	疾 病 傷 害 共 済					
		乳用牛	肉用牛	一般馬	種 豚	乳用種 種雄牛	肉用種 種雄牛
みなみ北海道	110,591	47,571	49,104	14,238	351	0	21
北海道中央	130,670	110,107	20,844	568	490	2	3
十勝	301,627	239,400	66,458	1,334	204	0	9
北海道ひがし	302,852	287,781	16,485	1,444	0	0	4
オホーツク	134,360	112,281	23,075	349	656	1	9
合 計	980,100	797,140	175,966	17,933	1,701	3	46
前年度実績	967,300	786,951	172,049	17,644	1,801	1	53

(注) 組合員数は、一般引受の戸数(肉豚は実戸数)である。

死 亡 廢 用 共 濟								
種 豚	群単位肉豚	特定肉豚	乳用種 種雄牛	肉用種 種雄牛	種雄馬	計		加入頭数 計画頭数
						組合員数	頭 数	
頭	頭	頭	頭	頭	頭	戸	頭	%
2,944	0	30,137	0	21	140	4,053	212,690	103.0
1,852	0	20,402	2	14	25	3,383	253,673	101.4
887	0	4,810	0	9	45	4,416	641,568	103.4
0	0	15,628	0	4	65	5,774	545,430	101.9
1,653	0	9,797	1	9	19	2,556	259,963	102.8
7,336	0	80,774	3	57	294	20,182	1,913,324	102.6
7,205	0	79,986	1	64	292	20,440	1,876,398	103.2

疾 病 傷 害 共 濟			
種雄馬	計		加入頭数 計画頭数
	組合員数	頭 数	
頭	戸	頭	%
150	2,517	111,435	100.8
25	2,132	132,039	101.0
45	2,770	307,450	101.9
65	3,674	305,779	101.0
19	1,623	136,390	101.5
304	12,716	993,093	101.3
297	12,769	978,796	101.2

家畜共済事故状況  
(家畜区分別事故頭数等)

区 分	死 亡 廃 用 共 済				
	死亡頭数	廃用頭数	計	支払共済金	支払保険金
項 目	頭	頭	頭	円	円
搾 乳 牛	23,649	19,992	43,641	11,100,115,375	8,880,088,743
育 成 乳 牛	31,757 (28,861)	2,819	34,576	2,906,654,790	2,325,321,490
繁 殖 用 雌 牛	1,374	408	1,782	557,606,958	446,085,539
育 成・肥 育 牛	25,906 (23,184)	1,609	27,515	3,425,690,823	2,740,551,958
繁 殖 用 雌 馬	204	63	267	202,313,212	161,850,561
育 成・肥 育 馬	107	65	172	170,695,870	136,556,690
種 豚	155	1	156	6,480,242	5,184,167
群 単 位 肉 豚	0	0	0	0	0
特 定 肉 豚	10,854	0	10,854	82,834,774	66,266,659
乳 用 種 種 雄 牛	0	0	0	0	0
肉 用 種 種 雄 牛	6	0	6	3,897,600	3,118,080
種 雄 馬	17	5	22	35,412,000	28,329,600
合 計	94,029	24,962	118,991	18,491,701,644	14,793,353,487
前 年 度 実 績	90,579	25,173	115,752	19,602,596,884	15,682,069,019

- (注) 1. 「死亡事故」には、「法令殺」を含む。  
2. 死亡頭数の下段( )内は、子牛等の頭数を示す。

(地域別事故頭数等)

地 域	死 亡 廃 用 共 済										
	牛			馬			種 豚			群 単 位 肉 豚	特 定 肉 豚
	死亡	廃用	計	死亡	廃用	計	死亡	廃用	計		
頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	
み な み 北 海 道	7,074	1,180	8,254	168	104	272	64	0	64	0	1,110
北 海 道 中 央	12,725	2,046	14,771	26	7	33	60	0	60	0	5,977
十 勝	27,604	8,079	35,683	54	11	65	21	1	22	0	131
北 海 道 ひ が し	24,865	9,844	34,709	56	9	65	0	0	0	0	2,995
オ ホ ー ツ ク	10,424	3,679	14,103	24	2	26	10	0	10	0	641
合 計	82,692	24,828	107,520	328	133	461	155	1	156	0	10,854
前 年 度 実 績	82,808	25,006	107,814	328	159	487	130	8	138	0	7,313

- (注) 1. 「死亡事故」には、「法令殺」を含む。  
2. 牛とは、搾乳牛、繁殖用雌牛、育成乳牛、育成・肥育牛、乳種牛、肉種牛をいう。  
3. 馬とは、繁殖用雌馬、育成・肥育馬、種雄馬をいう。

項目 区分	疾病傷害共済		
	件数	支払共済金	支払保険金
	件	円	円
乳用牛	631,428	8,845,631,812	2,452,965,373
肉用牛	75,128	1,167,048,952	295,661,732
一般馬	11,991	209,133,526	50,890,619
種豚	139	1,846,010	524,568
乳用種種雄牛	0	0	0
肉用種種雄牛	8	59,301	15,339
種雄馬	127	1,515,877	650,656
合計	718,821	10,225,235,478	2,800,708,287
前年度実績	730,150	10,310,663,431	2,809,057,735

死亡廃用共済			疾病傷害共済			支払共済金 合計	支払保険金 合計		
死亡	廃用	合計	支払共済金	支払保険金	件数			支払共済金	支払保険金
頭	頭	頭	円	円	件	円	円	円	円
8,416	1,284	9,700	1,781,918,460	1,425,534,451	65,233	1,134,366,337	292,923,673	2,916,284,797	1,718,458,124
18,788	2,053	20,841	2,342,118,567	1,873,692,208	89,499	1,343,335,594	363,093,509	3,685,454,161	2,236,785,717
27,810	8,091	35,901	5,877,306,655	4,701,845,071	178,169	2,367,966,456	625,868,891	8,245,273,111	5,327,713,962
27,916	9,853	37,769	6,430,045,138	5,144,032,706	293,057	3,831,369,238	1,100,369,179	10,261,414,376	6,244,401,885
11,099	3,681	14,780	2,060,312,824	1,648,249,051	92,863	1,548,197,853	418,453,035	3,608,510,677	2,066,702,086
94,029	24,962	118,991	18,491,701,644	14,793,353,487	718,821	10,225,235,478	2,800,708,287	28,716,937,122	17,594,061,774
90,579	25,173	115,752	19,602,596,884	15,682,069,019	730,150	10,310,663,431	2,809,057,735	29,913,260,315	18,491,126,754



# (家畜共済損害防止事業関係)

<組合等名：みなみ北海道農業共済組合>

(診療所の概況)

診療所名	職員配置				区域内		診療件数			人工授精頭数	摘要
	獣医師	人授精師	工事職員	計	有資格者頭数	加入頭数	共済事故	事故外	計		
石狩支所 北部家畜診療センター	10	0	(2) 2	(2) 12	16,665	5,554	3,600	4,300	7,900	(4,977) 2,164	
石狩支所 南部家畜診療センター	8	0	(2) 2	(2) 10	36,324	5,353	2,523	2,167	4,690	(2,974) 1,320	
後志支所 家畜診療センター	10	0	(1) 1	(1) 11	71,344	4,122	3,065	4,545	7,610	(6,801) 2,277	
道南支所 北部家畜診療センター	11	1	(2) 2	(2) 14	9,632	6,987	5,472	6,751	12,223	(8,764) 3,485	
道南支所 東部家畜診療センター	(1) 22	3	(4) 4	(5) 29	118,196	17,999	12,167	9,128	21,295	(14,719) 6,037	
道南支所 南部家畜診療センター	(2) 15	0	(2) 2	(4) 17	27,806	10,293	4,123	5,522	9,645	(4,757) 1,976	
いぶり支所 西部家畜診療センター	9	0	(1) 1	(1) 10	24,793	9,543	5,379	6,166	11,545	(3,422) 1,172	
いぶり支所 東部家畜診療センター	14	0	1	15	53,542	12,299	4,840	12,792	17,632	(8,561) 4,228	
日高支所 西部家畜診療センター	11	5	(1) 1	(1) 17	17,896	13,162	6,717	10,644	17,361	(11,015) 5,345	
日高支所 中部家畜診療センター	(1) 12	3	(1) 1	(2) 16	20,644	12,435	6,953	17,087	24,040	(5,292) 2,679	
日高支所 東部家畜診療センター	12	3	(1) 1	(1) 16	12,690	11,602	6,218	12,904	19,122	(3,138) 1,919	
日高支所 家畜高度医療センター	5	0	(1) 3	(1) 8					0		
合計	(4) 139	15	(18) 21	(21) 175	409,532	109,349	61,057	92,006	153,063	(74,420) 32,602	

- (注) 1. 区域内加入頭数は、一般掛金期間の頭数である。  
 2. 人工授精頭数の上段( )内は授精回数を示す。  
 3. 職員配置数は令和4年3月31日現在の人数である。また、職員配置数の上段( )内は準職員数の内数を示す。

(損害防止事業実施状況)

診療所名	特定損害防止				経費概算	一般損害防止				経費概算
	実施頭数					実施頭数				
	乳用牛	肉用牛	馬	計	乳用牛	肉用牛	馬	計		
石狩支所 北部家畜診療センター	1,717	201	0	1,918	444	18	7	469		
石狩支所 南部家畜診療センター	1,344	0	0	1,344	227	116	0	343		
後志支所 家畜診療センター	977	105	0	1,082	71	5	0	76		
道南支所 北部家畜診療センター	1,286	325	0	1,611	1,342	273	5	1,620		
道南支所 東部家畜診療センター	2,188	322	0	2,510	3,165	284	0	3,449		
道南支所 南部家畜診療センター	692	348	0	1,040	345	98	2	445		
いぶり支所 西部家畜診療センター	773	287	0	1,060	540	202	0	742		
いぶり支所 東部家畜診療センター	642	399	0	1,041	224	278	11	513		
日高支所 西部家畜診療センター	512	216	0	728	13	11	245	269		
日高支所 中部家畜診療センター	201	208	0	409	34	50	461	545		
日高支所 東部家畜診療センター	184	391	0	575	291	77	568	936		
日高支所 家畜高度医療センター										
合計	10,516	2,802	0	13,318	6,696	1,412	1,299	9,407		

千円 62,281 千円 92,641

<組合等名：北海道中央農業共済組合>

(診療所の概況)

支所名	診療所数	獣医師・授精師数	区域内		診療件数		
			有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	計
空知中央	1	5	2,045	1,978	1,691	3,242	4,933
南空知	1	5	7,801	2,796	1,768	7,719	9,487
中空知	1	5	3,071	3,017	1,658	2,562	4,220
北空知	1	5	9,394	2,755	1,107	1,972	3,079
上川北	4	23	37,600	19,791	10,582	32,748	43,330
富良野	1	10	14,284	9,710	4,327	3,481	7,808
上川中央	3	15	24,830	12,893	5,459	8,436	13,895
留萌	2	26	26,006	23,892	18,351	14,885	33,236
宗谷	3	37	66,234	55,207	32,486	25,342	57,828
合計	17	131	191,265	132,039	77,429	100,387	177,816

(注) 獣医師・授精師数は令和4年3月31日現在の人数である。

支所名	診療所数	人工授精							
		乳牛		肉牛		馬		計	
		授精頭数	授精回数	授精頭数	授精回数	授精頭数	授精回数	授精頭数	授精回数
空知中央	1	674	1,627	331	564	0	0	1,005	2,191
南空知	1	1,016	2,534	664	1,330	0	0	1,680	3,864
中空知	1	477	1,205	188	460	0	0	665	1,665
北空知	1	158	308	374	654	0	0	532	962
上川北	4	7,050	14,790	322	545	0	0	7,372	15,335
富良野	1	2,789	6,067	695	1,193	0	0	3,484	7,260
上川中央	3	3,051	8,103	474	876	0	0	3,525	8,979
留萌	1	903	2,350	103	172	0	0	1,006	2,522
合計	13	16,118	36,984	3,151	5,794	0	0	19,269	42,778

(損害防止事業実施状況)

実施項目		特定損害防止										
支所名	診療所数	乳用牛					肉用牛			豚	計	経費概算
		繁殖障害	乳房炎	周産期	牛伝染性	小計	繁殖障害	牛伝染性	小計	繁殖障害		
空知中央	1	177		127		304	305		305		609	1,950
南空知	1	717				717	369		369		1,086	2,407
中空知	1	736				736	352		352		1,088	3,471
北空知	1	43	153	123		319	154		154		473	1,897
上川北	4	3,516	158	437		4,111			0		4,111	12,875
富良野	1	1,824				1,824	675		675		2,499	5,797
上川中央	2	2,652	658	268		3,578	497		497	747	4,822	12,608
留萌	2	9,753			86	9,839			0		9,839	25,030
宗谷	3	6,675		118		6,793		114	114		6,907	30,004
合計	16	26,093	969	1,073	86	28,221	2,352	114	2,466	747	31,434	96,039

実施項目		一般損害防止				
支所名	診療所数	予防衛生措置	飼養管理指導	感染症対策	計	経費概算
		頭(件)	頭	頭		
空知中央	1	170	391	0	561	3,475
南空知	1	690	0	262	952	1,826
中空知	1	8	0	0	8	200
北空知	1		167	0	167	1,152
上川北	4		917	1,023	1,940	6,052
富良野	1	1,736	0	0	1,736	13,322
上川中央	3	7,654	696	170	8,520	13,796
留萌	2	7,702	0	2,471	10,173	14,511
宗谷	3	133	0	0	133	3,314
合計	17	18,093	2,171	3,926	24,190	57,648

( 附帯事業実施状況 )

実施種目	重点事項	実施期間	支所名	対象延頭数	経費概算
家畜人工授精事業	優良種雄牛選定 乳牛の資質向上と改良指導 受胎率の向上 受精卵移植 その他	通年		頭(件)	千円
			空知中央	2,317	378,481
			南空知	3,864	
			中空知	1,761	
			北空知	1,020	
			上川北	15,616	
			富良野	7,778	
			上川中央	8,979	
			留萌	2,527	
計	43,862				
家畜防疫事業	特定疾病発生予防事業技術支援 疾病清浄化支援対策事業採材等 その他	通年	空知中央	1,690	25,177
			南空知	438	
			中空知	208	
			北空知	509	
			上川北	830	
			富良野	7,874	
			上川中央	215	
			留萌	13,561	
			宗谷	36,960	
計	62,285				
各種証明書等発行	各種証明書 死亡獣畜処理指示書	通年	空知中央	372	16,618
			南空知	789	
			中空知	323	
			北空知	241	
			上川北	1,841	
			富良野	582	
			上川中央	1,471	
			留萌	3,687	
			宗谷	5,934	
計	15,240				
委託事業その他	家畜伝染病予防事業検査等補助業務 狂犬病予防事業 有害鳥獣駆除 公共牧場等衛生指導 獣医師確保対策事業 その他	通年	空知中央	4,939	6,858
			南空知	9,460	
			中空知	4,226	
			北空知	3,085	
			上川北	34,293	
			富良野	7,934	
			上川中央	13,873	
			留萌	33,163	
			宗谷	56,123	
計	167,096				
合 計					427,134

<組合等名：十勝農業共済組合>

(診療所の概況)

診療所等名	項目	職員配置			区域内		病傷事故 件数	人工授精頭数
		獣医師	授精師	計	有資格頭数	加入頭数		
		人	人	人	頭	頭	件	頭
中 部		16	0	16	151,152	51,545	10,418	6,930 ( 15,071 )
南 部	更 別	9	0	9	68,162	38,759	6,292	2,809 ( 4,075 )
	南 部	26	0	26	112,726	142,280	27,427	6,450 ( 5,848 )
西 部	西 部	19	0	19	183,562	128,792	20,143	1,684 ( 3,215 )
	鹿 追	19	1	20	67,389	81,509	16,450	7,023 ( 12,216 )
北 部	本 別	10	0	10	44,574	45,917	6,305	507 ( 199 )
	北 部	16	0	16	39,840	48,502	7,106	4,189 ( 8,079 )
	陸 別	10	0	10	19,942	29,178	7,666	3,188 ( 4,049 )
東 部	幕 別	8	0	8	23,730	26,720	7,537	— ( — )
	池 田	8	0	8	19,462	18,043	3,951	1,768 ( 2,183 )
	東 部	11	0	11	33,952	45,749	12,990	— ( — )
	浦 幌	8	0	8	22,504	37,202	4,940	3,303 ( 4,468 )
北西部	北西部	11	0	11	36,014	30,822	8,198	2,369 ( 2,332 )
	上士幌	18	0	18	236,999	224,000	18,139	6,879 ( 12,113 )
本 所		3	0	3	—	—	—	— ( — )
合 計		192	1	193	1,060,008	949,018	157,562	47,099 ( 73,848 )

注 1. 病傷事故件数は、直営診療所に係る件数を示す。

2. 人工授精頭数の( )内は、精液使用本数を示す。

(損害防止事業実施状況)

診療所等名	項目	特定損害防止事業					一般損害防止事業					
		実施頭数				経費概算	実施頭数または回数				経費概算	
		乳用牛	肉用牛	一般馬	計		健康検査	予防衛生措置	飼養管理指導	講習・講話		
		頭	頭	頭	頭	千円	頭	頭	戸	頭	回	千円
中 部		2,044	68	0	2,112	7,848	30	3,865	1	165	0	10,900
南 部	更 別	822	168	0	990	3,072	0	2,645	0	0	0	11,815
	南 部	3,180	153	0	3,333	11,420	255	6,553	3	972	0	16,885
西 部	西 部	4,120	96	0	4,216	11,780	0	14,696	0	0	0	38,764
	鹿 追	3,856	7	0	3,863	11,103	86	16,936	3	1,522	3	22,028
北 部	本 別	839	92	0	931	2,595	177	2,640	1	420	0	10,400
	北 部	1,094	400	0	1,494	6,341	198	3,707	4	872	0	15,781
	陸 別	2,187	88	0	2,275	5,940	1,161	3,166	8	3,272	0	14,252
東 部	幕 別	1,648	144	0	1,792	4,703	165	2,629	6	508	0	10,754
	池 田	582	405	0	987	3,139	125	3,075	4	1,776	0	6,340
	東 部	3,353	235	0	3,588	9,772	223	14,620	2	617	0	29,394
	浦 幌	813	46	0	859	2,886	0	8,942	0	0	1	11,718
北西部	北西部	572	36	0	608	2,456	60	4,771	4	609	0	18,753
	上士幌	3,684	65	0	3,749	11,633	1,504	5,310	9	2,516	0	21,483
本 所		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	152
合 計		28,794	2,003	0	30,797	94,688	3,984	93,555	45	13,249	4	239,419

<組合等名：北海道ひがし農業共済組合>

(診療所の概況)

項目 診療所等名	職員配置				区域内		診療件数			人工授精 頭数
	獣医師	人工授精師	業務 職員	計	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	計	
根室南部	36	-	7	43	70,549	173,356	60,162	62,011	122,173	(-)
根室西部	31	-	8	39	56,180	137,776	51,025	64,460	115,485	(-)
根室北部	31	-	7	38	63,809	156,298	43,474	49,590	93,064	(-)
浜中	14	-	6	20	23,699	54,616	16,600	24,983	41,583	(-)
姉別	4	-	1	5	7,971	21,300	5,336	12,504	17,840	(-)
厚岸	10	6	1	17	13,547	35,210	14,274	13,236	27,510	(19,282)
標茶	19	13	9	41	33,184	76,260	21,359	29,113	50,472	(28,517)
虹別	7	4	-	11	14,130	37,709	10,519	10,416	20,935	(15,314)
阿歴内	-	-	-	-	13,800	15,437	3,974	7,375	11,349	(10,241)
弟子屈	9	-	-	9	14,984	37,063	14,263	15,545	29,808	(-)
鶴居	10	-	7	17	14,232	39,974	13,361	17,472	30,833	(-)
阿寒釧路	9	5	-	14	20,283	41,472	11,495	12,169	23,664	(16,089)
音別白糠	6	-	1	7	8,799	24,738	8,387	11,117	19,504	(-)
合計	186	28	47	261	355,167	851,209	274,229	329,991	604,220	(89,443)

(注) 1. 獣医師の( )内は、根室家畜診療所獣医師数とし、内数とする。

2. 人工授精頭数の上段( )内は、授精回数を示す。

(損害防止事業実施状況)

特定損害防止事業(実施期日4月1日～1月31日 繁殖障害・乳房炎・牛伝染性リンパ腫について実施する)

区分	釧路管内		根室管内		計	
	検査延頭数	金額	検査延頭数	金額	検査延頭数計	金額計
繁殖障害	8,680	34,825,600	7,605	30,593,050	16,285	65,418,650
乳房炎	2,952	11,243,010	1,876	6,252,630	4,828	17,495,640
牛伝染性 リンパ腫	2,427	12,047,080	1,934	8,542,220	4,361	20,589,300
合計	14,059	58,115,690	11,415	45,387,900	25,474	103,503,590

一般損害防止事業(実施期日4月1日～3月31日)

区分	釧路管内		根室管内		計	
	頭数	金額	頭数	金額	頭数	金額
感染症対策・事故低減対策事業 感染症対策時の採血料に対する助成	8,639	5,874,520	1,133	770,440	9,772	6,644,960
牛感染症拡大防止対策 牛感染症拡大防止対策時の採血料及び往診料 サルモネラ症発生時の採材料及び往診料と検査料	-	10,774,150	-	3,195,560	-	13,969,710
合計	8,639	16,648,670	1,133	3,966,000	9,772	20,614,670

(付帯事業実施状況)

結核ブルセラ・ヨーネ病・伝貧・予防注射(実施期日4月1日～3月31日 重点事項 採血および反応判定)

区分	釧路管内	根室管内	計
従事人数(人)	4	5	9
経費(円)	55,600	69,500	125,100

<組合等名：オホーツク農業共済組合>  
(診療所の概況)

項目 診療所名	職員配置				区域内		診療件数			人工授精頭数等	
	獣医師	授精師	事務職員	計	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	計	回数	頭数
雄武診療所	8	5	(1) 1	(1) 14	23,800	30,370	5,905	6,091	11,996	15,106	6,491
興部診療所	7	4	1 (0)	12	34,606	46,234	6,416	4,729	11,145	12,472	5,609
紋別診療所	15	7	1 (0)	23	52,282	49,767	11,774	8,534	20,308	23,727	9,386
湧別診療所	(2) 15	3	(1) 1	(3) 19	32,092	39,939	6,716	4,748	11,464	5,826	2,437
遠軽診療所	(1) 9	(1) 6	1 (2)	16	32,650	41,226	5,484	2,294	7,778	14,049	6,200
佐呂間診療所	11	5	1 (0)	17	50,804	47,205	9,670	9,318	18,988	18,129	7,037
北見診療所	20	8	1 (0)	29	46,894	48,883	11,496	13,458	24,954	16,633	6,663
女満別診療所	(1) 16	7	(1) 1	(2) 24	118,816	60,378	10,163	6,185	16,348	21,297	9,219
小清水診療所	8	3	(1) 1	(1) 12	24,011	32,351	5,440	4,293	9,733	8,709	4,162
合計	(4) 109	(1) 48	(4) 9	(9) 166	415,955	396,353	73,064	59,650	132,714	135,948	57,204

(注) 職員配置の( )内は、準職員を示し内数とする。

(損害防止事業実施状況)

項目 支所等名	特定損害防止				一般損害防止				
	実施頭数			経費概算	実施頭数				経費概算
	乳用牛	肉用牛	計		繁殖管理	伝染病対策	乳房炎対策	計	
興部支所	10,486		10,486	25,546	12,259	220		12,479	1,250
湧別支所	8,093		8,093	21,793	10,512	205		10,717	1,250
本所(北見)	7,782		7,782	17,750	6,510			6,510	1,250
大空支所	4,858	1,035	5,893	15,584	4,806			4,806	1,250
合計	31,219	1,035	32,254	80,673	34,087	425	0	34,512	5,000

<組合等名：北海道農業共済組合連合会>

繁殖障害を主体に取り組み、実施金額は指示金額に対して318,530円増の437,118,810円となりました。

(家畜共済特定損害防止事業実施頭数)

区分		項目	繁殖障害	周産期疾患	乳房炎	牛伝染性パ腫	運動器患	呼吸器患	計
乳牛	指示	頭	121,257	5,877	9,240	2,665	0	0	139,039
	実施	頭	163,067	3,566	9,525	4,439	0	0	180,597

区分		項目	繁殖障害	牛伝染性パ腫	運動器患	呼吸器患	計
肉用牛	指示	頭	7,383	35	0	0	7,418
	実施	頭	11,866	122	0	0	11,988

区分		項目	繁殖障害
豚	指示	頭	1,108
	実施	頭	747

区分		事業頭数	事業金額
合計	指示	頭	円 436,800,280
	実施	頭	円 437,118,810

(経費)

経費総額	負担区分			
	国交付金	連合会負担	防災賦課金	その他
円 437,118,810	円 262,080,000	円 87,670,478	円 87,368,332	円 0

## 4. 果 樹 共 済

### (引受関係)

令和3年度の引受について、りんごは2組合で実施し、事業計画を引受戸数49戸、引受面積60haで設定し推進を行った結果、収入保険への移行及び規模縮小や他樹種への転換に伴う面積の縮小などにより、令和3年産半相殺減収暴風雨・ひょう害方式は引受戸数47戸（対事業計画2戸減、対前年実績8戸減）、引受面積51ha（対事業計画9ha減、対前年実績16ha減）となりました。なお、同引受方式は令和3年産をもって事業が廃止されることから、令和3年度に責任が開始される令和4年産地域インデックス方式の引受が16戸、13haとなり、結果として令和3年度引受実績は、実戸数47戸（対事業計画2戸減、対前年実績8戸減）、引受面積は64ha（対事業計画4ha増、対前年実績3ha減）となりました。

また、ぶどうは1組合で実施し、事業計画を引受戸数2戸、引受面積を1haとして推進を行い計画どおりの実績となりました。

総共済金額は、1億5,226万円（対事業計画2,664万円増、対前年実績1,255万円増）となりました。

### (被害及び損害評価関係)

#### (1) りんご

3月中旬以降の高温により、発芽期は平年より8日早く、その後は低温もありましたが展葉期は4月28日、開花期、満開期、落花期は平年より2～4日程度早く経過しました。

花芽率は平年並から多く結実は良好であり、着果量は平年並でした。

果実肥大経過は、7月1日は平年比より大きく経過しましたが、高温・少雨の影響により、9月15日の体積は平年並みとなり、園地や品種により差が生じました。

収穫作業は平年より早く、収量は雪害や霜害の大きかった園地では減収となりましたが、それ以外の園地では平年並からやや多収となり、品質は着色も良く糖度が高く良好でした。

被害は、10月23日に余市町の一部地域で降雹による被害が発生し、2類の一部品種及び3類に被害が発生しましたが、他の地域にあつては、規定風速に達する強風及び降雹による被害はありませんでした。

損害評価の結果、被害戸数は5戸、支払共済金は91万円（金額被害率0.8%）となり保険金64万円を12月10日に支払い、連合会保険収支は19万円の剰余となりました。

#### (2) ぶどう

6月の高温により開花盛期は平年より早く、結実は良好であり、果実肥大は7月の高温・少雨の影響でやや緩慢となりましたが、着色始めは早く、収量は平年並となり、果実品質は糖度が高く良好でした。

被害については、高温・少雨の影響による苗木の枯死、日焼け果が散見され、10月以降では灰色かび病の発生も増加しましたが、加入組合員の被害程度は僅少であり、被害申告はありませんでした。



果樹共済引受実績 (りんご)

方式	項目		引受面積	標準収穫量	共済金額	保険金額	総共済掛金	農家負担金	徴収保険料	有資格面積	引受面積 有資格面積
	組合員数	組合名									
半相殺減収暴風雨・ひょう害方式	みなみ北海道	戸	a	kg	円	円	円	円	円	ha	%
	北海道中央	7	595	83,623	13,464,000	13,042,470	289,554	144,781	129,248	71	8.4
	計	47	5,119	684,413	113,812,000	110,087,204	5,087,402	2,543,726	2,189,306	272	18.8
地域インデックス方式	みなみ北海道	16	1,269	193,913	37,419,000	36,226,771	1,251,517	625,762	558,593	202	6.3
	計	16	1,269	193,913	37,419,000	36,226,771	1,251,517	625,762	558,593	202	6.3
合計		47	6,388	878,326	151,231,000	146,313,975	6,338,919	3,169,488	2,747,899	272	23.5
前年度実績		55	6,736	847,821	139,179,000	134,613,226	6,402,665	3,201,363	2,756,634	287	23.5

(注) 1. 本表は、令和3年度の引受実績である。(ただし、地域インデックス方式の引受は令和4年産である。)

2. 有資格面積は、引受時の組合調査面積で事業実施組合区域のみの面積を表し、収入保険加入者を除く。

3. 計は、ラウンドの関係で積上げとは必ずしも一致しない。また、合計の組合員数は実戸数を表す。

4. 令和3年度は、令和4年産の総合一般方式、樹体共済及び令和3年産総合短縮方式の引受実績はない。

(参考) 半相殺減収暴風雨・ひょう害方式(令和3年産)：納入再保険料 1,362,454円(令和2年産 1,719,100円)、  
手持保険料 826,852円(令和2年産 1,037,534円)

地域インデックス方式(令和4年産)：納入再保険料 401,884円(令和3年産 0円)、  
手持保険料 156,709円(令和3年産 0円)

果樹共済引受実績 (ぶどう)

方式	項目		引受面積	基準生産額	共済金額	保険金額	総共済掛金	農家負担金	徴収保険料	有資格面積	引受面積 有資格面積
	組合員数	組合名									
災害収入共済方式	北海道中央	戸	a	円	円	円	円	円	円	ha	%
	計	2	120	1,286,039	1,028,000	991,329	53,456	26,728	20,405	20	6.0
合計		2	120	1,286,039	1,028,000	991,329	53,456	26,728	20,405	20	6.0
前年度実績		2	82	661,791	528,000	509,165	27,456	13,728	10,480	42	2.0

(注) 1. 本表は、令和3年度の引受実績(令和4年産)である。

2. 有資格面積は、引受時の組合調査面積で事業実施組合区域のみの面積を表し、収入保険加入者を除く。

(参考) 災害収入共済方式(令和4年産)：納入再保険料 5,653円(令和3年産 2,904円)、  
手持保険料 14,752円(令和3年産 7,576円)

果樹共済被害状況 (りんご)

方式	項目		被害組合員数	認定減収量	共済金	保険金	金額被害率
	組合名	戸					
半相殺減収暴風雨・ひょう害方式	みなみ北海道	5	5	7,678	914,150	639,905	0.9
	北海道中央	0	0	0	0	0	0.0
	計	5	5	7,678	914,150	639,905	0.8
合計		5	5	7,678	914,150	639,905	0.8
前年度実績		1	1	1,021	42,750	29,925	0.0

果樹共済保険金支払実績 (りんご)

方式	項目	支払月日	支払保険金	保険金支払財源					実支払保険金
				再保険金	手持保険料 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
半相殺減収暴風雨・ひょう害方式		令和3年 12月10日	639,905	0	639,905	0	0	0	100.0
合計		-	639,905	0	639,905	0	0	0	100.0

(注) 保険収支 194,523円(りんご半相殺減収暴風雨・ひょう害方式 186,947円、ぶどう災害収入共済方式 7,576円)

果樹共済共済金支払実績 (りんご 組合別)

組合名	項目	支払月日	実支払共済金	共済金支払財源					実支払共済金
				保険金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
みなみ北海道		令和3年 12月10日	914,150	639,905	274,245	0	0	0	100.0
北海道中央		-	-	-	-	-	-	-	-
合計		-	914,150	639,905	274,245	0	0	0	100.0

## 5. 畑作物共済

### (引受関係)

作物ごとの作付動向及び収入保険への移行等を考慮し設定した引受計画面積162,700ha（前年度計画比89.6%）の達成に努めましたが、予想以上に収入保険への移行が進んだことから、引受実績は161,654ha（前年対比89.9%）となり、引受計画を1,046ha（0.6%減）下回りました。

また、前年実績対比においても18,256ha下回り、総共済金額は、前年に対して188億3,690万円減の1,407億9,214万円となりました。

### (被害及び損害評価関係)

#### (1) 令和2年産

##### ア. 全相殺方式

##### (ア) ばれいしょ（青色申告書等調査を除く）

植付期は、雨や雪が降った日が多かったことから、平年より2日遅れとなりました。5月は高温・少雨で推移したため萌芽期は平年より1日遅れとなりました。6月中旬以降は寡照・多雨のため開花期は平年より1日遅れとなりました。7月上旬以降は高温から平年並となり日照時間も多く、茎葉黄変期は平年並となりました。収穫作業は9月の降雨により一部停滞した地域もありましたが、概ね順調に進み収穫期は平年より5日早くなりました。規格内収量は、1個重が平年より重く上いも数が少ないことから平年並からやや少なくなり、でん粉価は平年並でしたが地域によっては平年をやや下回りました。

被害は、生育期の高温・少雨の影響で干害となり、着いも数不足や肥大不足が発生したほか、9月中旬からの長雨により地域によっては腐敗が発生しました。また、オホーツク管内において6月中旬と下旬の寡照による開花遅れや7月下旬の干害により生育は遅延し、さらに8月の高温により早期枯凋したため収穫が早まりでん粉価が低下し、特例措置の対象となりました。

損害評価は、引受5組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は9億8,149万円（金額被害率2.4%）となり、保険金7億8,519万円を7月29日に支払いました。

##### (イ) 小豆

は種期・出芽期ともに平年より1日早く出芽もやや良好でした。6月下旬から寡照・多雨で経過したものの、高温で推移したことから開花期は平年より1日早くなりました。8月以降も高温で経過し、9月はかなり高温で推移したため成熟期は平年より5日早くなりました。十勝・オホーツク管内では気温が高く推移した影響で、開花期での落花や、登熟が一気に進んだことにより小粒傾向となりました。収穫期は成熟が早まったことで平年より3日早くなりました。着莢数は平年並でしたが、オホーツク管内は平年より少なくなりました。地域によっては色ムラ、過熟粒が発生しました。

被害は、高温による影響から着莢数不足・子実肥大不足による収量の減少が全

道的に発生したほか、8月下旬以降の長雨により十勝管内の一部地域で品質低下による規格外が発生しました。また、干害等により一部圃場で転作が行われました。

損害評価は、引受5組合のうち全組合で実施した結果、4組合が支払対象となり、支払共済金は2億1,493万円（金額被害率2.1%）となり、保険金1億7,194万円を7月29日と12月27日に支払いました。

#### (ウ) いんげん

は種期は平年より1日早く、出芽期は平年より2日早まりました。6月下旬から寡照・多雨で経過したものの、気温が高く推移したことから開花期は平年より2日早くなりました。8月以降も高温で経過したことから生育は早く進み、成熟期は平年より5日早くなりました。収穫は、9月の降雨により十勝管内の一部地域で停滞もありましたが、概ね順調に進み収穫期は平年より5日早くなりました。

被害は、は種後の少雨のため出芽不良となり、着莢数不足・子実肥大不足で収量が減少した圃場がありました。また、8月下旬以降の長雨により十勝管内の一部地域で色流れ粒や腐敗粒及び発芽粒が発生しました。

損害評価は、引受4組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は5億523万円（金額被害率17.7%）となり、保険金4億418万円を7月29日と12月27日に支払いました。

#### (エ) たまねぎ（青色申告書等調査を除く）

移植期は平年より1日早くなりました。5月は気温が高く、適度な降雨もあり活着及び初期生育が良好に推移し、球肥大期は平年より1日早くなりました。その後、7月の高温・少雨の影響で、倒伏期及び枯葉期は平年より1日早くなり、8月以降も概ね好天に恵まれ根切り期は平年より2日早くなりました。収穫作業は、生育が平年より早く進んだことと早期出荷対応により、収穫始は平年より5日早く、収穫期も6日早く、収穫終は2日早くなりました。

被害は、6月中旬から8月上旬の少雨の影響により、球肥大不足となり減収した圃場がありました。

損害評価は、引受4組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は7,231万円（金額被害率0.3%）となり、保険金5,785万円を7月29日に支払いました。

#### イ. 全相殺方式（青色申告書等調査によるばれいしょ・スイートコーン・かぼちゃ）

損害評価は、ばれいしょは引受1組合、スイートコーンは引受2組合、かぼちゃは引受1組合の全組合で実施した結果、スイートコーン1組合が支払対象となり、支払共済金は156万円（金額被害率18.6%）となり、保険金125万円を7月29日に支払いました。

## ウ. 地域インデックス方式

損害評価は、ばれいしょは引受3組合、大豆は引受2組合、小豆は引受2組合、いんげんは引受1組合、てん菜は引受1組合、そばは引受1組合、スイートコーンは引受1組合、たまねぎは引受1組合の全組合で実施した結果、小豆で2組合、いんげんで1組合が支払対象となり、支払共済金は151万円（金額被害率6.1%）となり、保険金121万円を7月29日に支払いました。

## (2) 令和3年産

### ア. 豆 類（大豆・半相殺小豆・半相殺いんげん）

は種期は、大豆と小豆が一部地域で断続的な降雨により平年より2日遅れとなりましたが、いんげんは±0日でした。出芽期は小豆でやや遅くなりましたが、大豆といんげんはほぼ平年並でした。6月以降気温が高く推移したことから草丈・葉数ともに平年並以上で推移し、開花期は平年並からやや早くなりました。成熟期は大豆が平年より4日、いんげんは3日早く、小豆は1日遅れとなりました。小豆では高温・少雨の影響により開花の遅れや落花が見られ、莢の成熟が遅れました。特に、上川・オホーツク管内で落花や成熟が著しく遅れたことにより品質低下及び小粒となりました。また、いんげんでは一部の圃場で少雨の影響により成熟ムラが見られました。

被害は7月上旬からの高温・少雨の影響で着莢数不足・子実肥大不足により減収となった圃場が見られたほか、小豆では未成熟による色ムラ・小粒等の発生、いんげんでは二次生長した莖及び莢が成熟せず品質低下により減収した圃場がありました。

損害評価は、半相殺大豆は引受3組合のうち2組合、全相殺大豆4類は引受1組合の全組合、半相殺小豆は引受5組合のうち全組合、半相殺いんげんは引受4組合のうち全組合で実施した結果、支払対象は半相殺大豆で1組合、全相殺大豆4類で1組合、半相殺小豆で4組合、半相殺いんげんで3組合で支払対象となり、支払共済金は9,693万円（金額被害率5.0%）となり、保険金7,754万円を12月27日に支払いました。

また、出荷数量等調査による全相殺大豆1・3類は、引受5組合のうち全組合で損害評価を実施した結果、5組合が支払対象となり、支払共済金は7億8,531万円（金額被害率4.1%）となり、保険金6億2,825万円を3月30日に支払いました。

### イ. てん菜

直播栽培のは種作業は、融雪期以降高温で推移したことから概ね平年並でしたが、出芽期は平年より3日遅れとなり、一部地域で低温により出芽が遅れました。移植栽培の移植作業は、融雪期以降高温で推移したことから平年並でしたが、道央・道北の一部地域では、降雨により作業が停滞しました。6月中旬以降は高温・多照により直播・移植ともに順調に生育しましたが、高温と長期に亘る少雨の影響を受けて、下葉の萎れや黄化が発生し、根部肥大も緩慢となりました。その後8月の降雨

により根部の肥大は平年並に回復し、最終的に収量は平年を上回りました。また、糖分は直播・移植ともに9月下旬以降の気温が高く推移したことから、平年を下回りました。

被害は、全道的に糖度がやや低下し、高温・少雨による根部肥大不良により減収した圃場があったほか、十勝・オホーツク管内を中心に凍霜害等により移植苗や直播栽培の出芽後の個体が枯死し、再は種・再移植等や他作物への転作が行われましたが、被害は軽微でした。

損害評価は、出荷数量等調査による全相殺方式の引受5組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は8億2,926万円（金額被害率1.6%）となり、保険金6億6,341万円を1月27日に支払いました。

#### ウ. ホ ッ プ

萌芽期は平年並でしたが、7月上旬から7月下旬にかけて高温・少雨で推移したことから生育不良となり、蔓の伸長、開花、毬花の着果数いずれも平年を下回り減収しました。

被害は、高温・少雨等の影響により葉ダニが発生し、生育不良により着果数が減少し減収しました。

損害評価は、出荷数量等調査による全相殺方式の引受1組合で実施した結果、1組合が支払対象となり、支払共済金は52万円（金額被害率5.2%）となり、保険金41万円を12月27日に支払いました。

#### エ. そ ば

は種作業は5月中旬からの好天で平年並に終了しましたが、6月上旬から7月下旬の記録的な少雨により出芽は遅れました。また、7月中旬から8月上旬の高温、さらに8月中旬の低温により受粉への影響があり、一部で不稔粒が発生しました。8月上旬の降雨により生育は回復しましたが収量は総体的に平年をやや下回りました。

被害は、は種後の少雨により出芽不良や出芽遅れとなり、生育にばらつきが見られたほか、一部圃場では、開花期間の高温による受粉障害で結実不良及び不稔粒が見られ、子実肥大も緩慢となり、減収した圃場がありました。また、空知管内及び上川管内の一部地域において、9月13日及び10月10日の強風による倒伏及び脱粒被害が発生しました。

損害評価は、出荷数量等調査による全相殺方式の引受5組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は2億4,978万円（金額被害率10.9%）となり、保険金1億9,983万円を3月30日に支払いました。

#### オ. スイートコーン

は種作業は平年並でしたが、は種後の少雨で出芽や初期生育がばらつきました。6月に入り気温の上昇と降雨により生育は順調に進み、7月中旬から8月上旬の高温や好天により生育は順調に経過しました。収穫期には高温により生育が進みましたが、少雨により先端不稔が発生し、収量及び品質低下となりました。収穫作業は順調に進みましたが、高温の影響は収穫後半まで続き、雌穂重は軽く、不稔により製品歩留まりはやや低くなりました。地域により収量差が見られましたが、総体的な収量は平年よりやや少なくなりました。

被害は、5月下旬から6月中旬にかけての高温・少雨による初期生育不良及び7月上旬以降の高温・少雨の影響により不稔が発生し、着実不足により減収した圃場があったほか、一部圃場で凍霜害により他作物への転作が行われました。

損害評価は、出荷数量等調査による全相殺方式の引受4組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は1億4,284万円（金額被害率9.1%）となり、保険金1億1,427万円を1月27日に支払いました。

#### カ. かぼちゃ

トンネル作型の定植作業は平年並に進み、着果も良好で生育は概ね良好でした。収穫は平年よりやや早く開始され、収量は平年並でした。

露地作型のは種作業は、ほぼ平年並に開始されましたが、一部で発芽のばらつきがありました。5月の強風や断続的な降雨により一部地域で定植作業の遅れや葉の損傷、退色等の生育障害が発生しました。7月に入り気温の上昇とともに生育は回復傾向となりましたが、高温・少雨の影響により、着果数が少なく、果実もやや肥大不足となりました。秋季においても収穫果数はやや少なく小玉傾向で収量は平年よりやや少なくなりました。

被害は、高温・少雨の影響による着果数の減少に加え、全道的に果実の日焼け症状が多く発生し、太平洋側の産地では、うどんこ病の発生が多く見られました。また、十勝管内の一部圃場において、干害により他作物への転作が行われました。

損害評価は、出荷数量等調査による全相殺方式の引受4組合のうち全組合で実施した結果、全組合が支払対象となり、支払共済金は1億2,393万円（金額被害率6.6%）となり、保険金9,915万円を1月27日と3月30日に支払いました。

畑作物共済引受実績

再保険区分	共済目的の種類	組合名	組合員数	引 受 面 積		引 受 収 量	基準単収	全 道 平 均	
				本 年 度	前年産対比増減 (△)			共 済	た り 額
第 一 区 分	ば れ い し よ	みなみ北海道	戸 498	a 241,526	a △ 21,301	kg 60,751,377	kg 2,814		円
		北海道中央	435	179,594	△ 27,284	52,206,563	3,237	1類	21.40
		十 勝	2,232	1,917,873	△ 57,822	589,124,897	3,414	2類	32.93
		北海道ひがし	24	59,115	△ 9,134	17,325,949	3,293	3類	62.22
		オホーツク	1,673	1,433,013	△ 100,027	497,283,556	3,857	4類	38.84
		計	4,862	3,831,121	△ 215,568	1,216,692,342	3,532	9類	38.37
	大  豆	みなみ北海道	853	506,133	△ 78,422	10,218,198	227		
		北海道中央	2,079	1,217,737	△ 154,132	24,390,192	223	1類	310
		十 勝	1,931	1,090,689	157,549	27,651,828	282	3類	321
		北海道ひがし	4	1,556	△ 408	24,440	175	4類	168
		オホーツク	597	233,528	△ 4,787	5,241,098	249	6類	313
		計	5,464	3,049,643	△ 80,200	67,525,756	247	7類	315
	小  豆	みなみ北海道	360	158,221	△ 60,464	2,888,402	241		
		北海道中央	255	63,420	△ 40,446	1,068,488	213		
十 勝		2,518	1,159,262	△ 178,969	25,887,570	282			
北海道ひがし		3	1,180	310	21,212	229			
オホーツク		558	150,656	△ 35,001	3,306,817	275			
	計	3,694	1,532,739	△ 314,570	33,172,489	274		316	
い ん げ ん	みなみ北海道	7	1,749	△ 142	27,061	194			
	北海道中央	92	26,015	△ 5,293	367,599	178	1類	254	
	十 勝	1,111	491,269	△ 26,476	8,274,036	213	2類	334	
	北海道ひがし						3類	465	
	オホーツク	218	67,995	4,870	1,118,911	206	4類	594	
	計	1,428	587,028	△ 27,041	9,787,607	211			
て  ん 菜	みなみ北海道	396	268,837	△ 19,946	137,009,961	5,671			
	北海道中央	579	302,878	△ 43,733	171,007,256	6,291			
	十 勝	2,600	2,367,822	53,239	1,395,316,495	6,549	1類	17.30	
	北海道ひがし	20	34,461	△ 4,175	19,358,522	6,258	3類	17.09	
	オホーツク	2,008	2,099,556	△ 107,898	1,270,195,895	6,723			
	計	5,603	5,073,554	△ 122,512	2,992,888,129	6,557			
ホ ッ プ	北海道中央	3	290	△ 8	4,497	194			
	計	3	290	△ 8	4,497	194		2,190	

共 濟 金 額	保 險 金 額	總 共 濟 掛 金	農 家 負 担 掛 金	徵 収 保 險 料	有 資 格 積 面	引 受 面 積 有 資 格 面 積
円	円	円	円	円	ha	%
2,448,051,461		121,412,009	54,635,665	30,353,034	4,744	50.9
2,104,270,321		103,055,241	46,375,122	25,763,852	2,206	81.4
20,079,048,801		632,341,016	284,555,095	158,085,520	20,561	93.3
434,581,380		18,109,763	8,149,426	4,527,449	591	100.0
13,673,139,645		432,950,374	194,828,672	108,237,745	14,652	97.8
38,739,091,608	30,991,270,567	1,307,868,403	588,543,980	326,967,600	42,754	89.6
3,069,634,567		260,837,508	117,377,317	65,209,434	6,386	79.3
7,556,759,293		620,846,625	279,382,049	155,211,850	13,887	87.7
7,955,940,889		430,094,901	193,543,726	107,523,888	11,699	93.2
6,943,888		432,347	194,557	108,086	16	100.0
1,650,033,881		167,199,420	75,240,023	41,799,894	2,431	96.1
20,239,312,518	16,191,447,738	1,479,410,801	665,737,672	369,853,152	34,418	88.6
830,834,286		40,033,093	18,015,055	10,008,293	2,797	56.6
340,034,424		28,625,150	12,881,439	7,156,310	801	79.1
8,250,102,606		554,760,762	249,643,547	138,690,374	12,447	93.1
6,766,628		475,240	213,860	118,811	12	100.0
1,051,628,319		66,884,278	30,098,206	16,721,126	1,559	96.6
10,479,366,263	8,383,491,586	690,778,523	310,852,107	172,694,914	17,616	87.0
9,341,270		604,798	272,162	151,199	90	19.4
118,026,293		10,715,056	4,821,824	2,678,776	276	94.3
2,558,716,540		307,933,784	138,570,861	76,983,549	5,201	94.5
411,184,363		26,381,023	11,871,574	6,595,272	728	93.4
3,097,268,466	2,477,814,596	345,634,661	155,536,421	86,408,796	6,295	93.3
2,328,550,573		139,669,572	62,851,504	34,917,433	3,855	69.7
2,816,434,931		205,113,210	92,301,219	51,278,345	3,412	88.8
24,011,551,637		913,223,285	410,951,734	228,306,049	25,045	94.5
336,609,357		16,893,050	7,601,885	4,223,267	345	100.0
22,272,514,085		828,176,553	372,680,408	207,044,292	21,288	98.6
51,765,660,583	41,412,526,192	2,103,075,670	946,386,750	525,769,386	53,945	94.1
9,848,430		262,377	118,071	65,594	3	100.0
9,848,430	7,878,744	262,377	118,071	65,594	3	100.0



畑作物共済引受実績

再保険区分	共済目的の種類	組合名	組合員数	引 受 面 積		引 受 収 量	基準単収	全 道 平 均	
				本 年 度	前年産対比増減(△)			共 済	た 金 額
第 一 区 分	そ ば	みなみ北海道	戸 81	a 50,555	a △ 59,466	kg 322,834	kg 80	1類 459.45 3類 477.77	
		北海道中央	1,117	723,158	△ 322,687	3,638,817	63		
		十 勝	75	70,398	△ 13,483	579,444	103		
		北海道ひがし	14	33,000	△ 4,683	209,754	79		
		オホーツク	28	36,033	△ 13,310	250,359	87		
	計	1,315	913,144	△ 413,630	5,001,208	68			
	ス イ ー ト コ ー ン	みなみ北海道	130	43,516	△ 15,247	3,299,436	947	1類 32.21 2類 142.75 3類 32.39	
		北海道中央	215	58,265	△ 22,907	4,736,771	1,016		
		十 勝	783	263,856	△ 48,937	25,169,997	1,192		
		北海道ひがし							
		オホーツク	109	57,987	△ 8,426	5,395,072	1,163		
	計	1,237	423,624	△ 95,517	38,601,276	1,139			
	た ま ね ぎ	みなみ北海道	15	4,920	△ 946	1,746,959	4,369	47.79	
		北海道中央	200	113,809	△ 80,127	47,656,348	5,232		
		十 勝	131	57,583	△ 10,941	18,330,777	3,979		
北海道ひがし									
オホーツク		447	335,504	△ 399,654	156,090,702	5,821			
計	793	511,816	△ 491,668	223,824,786	5,469				
か ぼ ち ゃ	みなみ北海道	217	42,835	△ 25,397	3,384,945	988	111.79		
	北海道中央	490	121,496	△ 34,542	8,731,145	898			
	十 勝	177	38,729	857	2,902,630	937			
	北海道ひがし								
	オホーツク	146	39,339	△ 5,779	1,889,851	601			
計	1,030	242,399	△ 64,861	16,908,571	872				
合 計	みなみ北海道	1,266	1,318,291	△ 281,331	219,649,173				
	北海道中央	3,628	2,806,662	△ 731,159	313,807,676				
	十 勝	3,084	7,457,481	△ 124,983	2,093,237,674				
	北海道ひがし	32	129,312	△ 18,090	36,939,877				
	オホーツク	2,242	4,453,611	△ 670,012	1,940,772,261				
計	10,252	16,165,357	△ 1,825,575	4,604,406,661					
前 年 産 実 績			11,900	17,990,932	△ 616,809	4,939,067,199			

- (注) 1. 計と合計の組合員数は、実組合員数を示す。  
 2. 計は、ラウンドの関係で積上げとは一致しない場合がある。  
 3. 引受面積／有資格面積の割合は、ラウンドの関係で一致しない場合がある。  
 4. 有資格面積は収入保険移行者を除いた面積を示す。

共 済 金 額	保 険 金 額	総 共 済 掛 金	農 家 負 担 掛 金	徴 収 保 険 料	有 資 格 積 面	引 受 面 積 有 資 格 面 積
円	円	円	円	円	ha	%
153,783,557		16,058,498	7,226,362	4,014,632	1,438	35.1
1,617,180,999		157,208,641	70,744,421	39,302,219	9,287	77.9
296,952,312		23,728,858	10,678,021	5,932,220	736	95.6
103,841,780		12,062,454	5,428,111	3,015,615	330	100.0
126,154,558		14,566,956	6,555,143	3,641,740	401	89.9
2,297,913,206	1,838,330,046	223,625,407	100,632,058	55,906,426	12,192	74.9
155,909,419		11,804,906	5,312,272	2,951,242	1,036	42.0
327,546,330		37,803,521	17,011,686	9,450,890	990	58.9
919,483,046		54,550,357	24,548,048	13,637,666	2,994	88.1
174,746,326		7,086,667	3,189,053	1,771,682	591	98.1
1,577,685,121	1,262,147,606	111,245,451	50,061,059	27,811,480	5,611	75.5
84,203,418		6,098,627	2,744,391	1,524,660	157	31.3
2,212,869,785		169,542,085	76,294,031	42,385,543	2,699	42.2
883,543,393		72,199,973	32,490,043	18,049,994	748	77.0
7,515,221,919		257,511,297	115,880,297	64,377,861	3,434	97.7
10,695,838,515	8,556,670,499	505,351,982	227,408,762	126,338,058	7,038	72.7
371,976,459		39,398,206	17,729,297	9,849,572	1,308	32.8
980,282,378		81,594,510	36,717,763	20,398,673	1,903	63.8
325,608,640		23,985,121	10,793,387	5,996,296	653	59.3
212,286,890		17,152,217	7,718,568	4,288,063	420	93.7
1,890,154,367	1,512,123,072	162,130,054	72,959,015	40,532,604	4,284	56.6
9,452,285,010		635,917,217	286,164,025	158,979,499	21,811	60.4
18,083,253,184		1,414,766,416	636,647,625	353,692,052	35,464	79.1
65,280,947,864		3,012,818,057	1,355,774,462	753,205,556	80,084	93.1
888,743,033		47,972,854	21,587,839	11,993,228	1,293	100.0
47,086,909,986		1,817,908,785	818,061,944	454,477,675	45,503	97.9
140,792,139,077	112,633,700,646	6,929,383,329	3,118,235,895	1,732,348,010	184,190	87.8
159,629,037,882	127,703,219,548	8,159,508,548	3,671,793,656	2,039,879,341	205,796	87.4

(参考) 第一区分：交付金 1,937,926,734円、手持保険料 3,670,274,744円、通常責任保険金額 3,969,472,264円

畑作物共済被害状況  
(令和2年産)

再保険 区分	共済目的 の種類	組 合 名	被 害 組合員数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	金 額 被害率	
			戸	a	kg	円	円	%	
第 一 区 分	ば れ い し よ	みなみ北海道	125	35,697	1,377,731	65,363,826	52,291,059	2.3	
		北海道中央	154	42,553	1,273,422	55,817,085	44,653,666	2.3	
		十 勝	861	536,084	13,769,276	586,854,382	469,483,504	2.8	
		北海道ひがし	7	2,410	39,012	683,971	547,175	0.1	
		オホーツク	512	360,210	9,257,154	272,769,802	218,215,840	1.9	
		計	1,659	976,954	25,716,595	981,489,066	785,191,244	2.4	
	大 豆	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央	0	0	0	0	0	0	0.0
		十 勝							
		北海道ひがし							
		オホーツク							
	計	0	0	0	0	0	0	0.0	
	小 豆	みなみ北海道	74	29,675	122,871	35,476,744	28,381,394	5.4	
		北海道中央	78	20,988	87,907	25,003,626	20,002,900	5.5	
		十 勝	208	94,863	387,783	112,416,325	89,933,060	1.4	
		北海道ひがし	0	0	0	0	0	0.0	
		オホーツク	159	43,479	145,249	42,030,106	33,624,084	3.7	
	計	519	189,005	743,810	214,926,801	171,941,438	2.1		
	い ん げ ん	みなみ北海道	2	776	2,563	809,908	647,926	9.8	
		北海道中央	23	5,556	26,718	7,170,514	5,736,409	5.7	
		十 勝	425	198,884	1,711,185	491,494,972	393,195,977	20.9	
北海道ひがし									
オホーツク		23	7,279	14,230	5,754,368	4,603,493	1.6		
計	473	212,495	1,754,696	505,229,762	404,183,805	17.7			
て ん 菜	みなみ北海道								
	北海道中央	0	0	0	0	0	0	0.0	
	十 勝								
	北海道ひがし								
	オホーツク								
計	0	0	0	0	0	0	0.0		

- (注) 1. 計と合計の組合員数は、実組合員数を示す。  
2. 計と合計の被害面積は、ラウンドの関係で積上げと一致しない場合がある。  
3. 全相殺の被害面積は、共済金支払対象者の引受面積である。  
4. ばれいしょ・小豆・いんげんは出荷数量等調査による全相殺方式、青色申告書等調査による全相殺方式及び地域インデックス方式の被害状況である。  
5. 大豆は地域インデックス方式の被害状況である。  
6. てん菜は地域インデックス方式の被害状況である。

## (令和2年産)

再保険 区分	共済目的 の種類	組 合 名	被 害 組合員数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	金 額
								被 害 率
			戸	a	kg	円	円	%
第 一 区 分	そ ば	みなみ北海道						
		北海道中央 十 勝 北海道ひがし オホーツク 計	0	0	0	0	0	0.0
	ス イ ー ト コ ー ン	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央 十 勝 北海道ひがし オホーツク 計	1	335	11,510	1,561,446	1,249,156	53.5
	た ま ね ぎ	みなみ北海道	2	816	33,565	1,742,023	1,393,618	1.6
		北海道中央	12	4,099	256,497	11,677,042	9,341,633	0.3
		十 勝	11	3,956	137,384	7,130,225	5,704,180	0.6
		北海道ひがし オホーツク 計	14	7,137	997,300	51,759,864	41,407,891	0.3
	か ぼ ち ゃ	みなみ北海道						
		北海道中央 十 勝 北海道ひがし オホーツク 計	0	0	0	0	0	0.0
合 計	みなみ北海道	189	66,964	1,536,730	103,392,501	82,713,997	2.9	
	北海道中央	248	73,531	1,656,054	101,229,713	80,983,764	1.4	
	十 勝	1,303	833,787	16,005,628	1,197,895,904	958,316,721	3.7	
	北海道ひがし	7	2,410	39,012	683,971	547,175	0.1	
	オホーツク 計	659	418,105	10,413,933	372,314,140	297,851,308	1.1	
前 年 産 実 績		2,406	1,394,796	29,651,357	1,775,516,229	1,420,412,965	2.3	
		1,572	747,644	18,203,080	931,846,605	745,477,267	1.2	

(注) 7. そばは地域インデックス方式の被害状況である。

8. スイートコーンは青色申告書等調査による全相殺方式及び地域インデックス方式の被害状況である。

9. たまねぎは出荷数量等調査による全相殺方式及び地域インデックス方式の被害状況である。

10. かぼちゃは青色申告書等調査による全相殺方式の被害状況である。

## (令和3年産)

再保険 区分	共済目的 の種類	組 合 名	被 害 組合員数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	金 額 被害率
			戸	a	kg	円	円	%
第 一 区 分	大豆 (半 相 殺)	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央	1	119	662	215,812	172,649	17.2
		十 勝	0	0	0	0	0	0.0
		北海道ひがし						
		オホーツク						
	計	1	119	662	215,812	172,649	0.4	
	大豆 (全 相 殺 1・ 3 類)	みなみ北海道	97	39,553	166,789	49,569,827	39,655,861	1.6
		北海道中央	778	460,691	1,990,641	610,913,377	488,730,701	8.1
		十 勝	65	32,413	87,357	27,428,830	21,943,063	0.4
		北海道ひがし	1	487	3,142	461,874	369,499	6.7
		オホーツク	179	80,342	308,648	96,936,402	77,549,121	5.9
	計	1,120	613,486	2,556,577	785,310,310	628,248,245	4.1	
大豆 (全 相 殺 4 類)	みなみ北海道							
	北海道中央							
	十 勝	34	8,441	60,173	10,109,064	8,087,251	1.1	
	北海道ひがし							
	オホーツク							
計	34	8,441	60,173	10,109,064	8,087,251	1.1		
小 豆 (半 相 殺)	みなみ北海道	15	4,281	13,502	3,495,874	2,796,699	1.7	
	北海道中央	18	4,194	34,121	10,836,535	8,669,228	36.6	
	十 勝	27	11,736	89,345	28,501,055	22,800,844	5.5	
	北海道ひがし	0	0	0	0	0	0.0	
	オホーツク	10	1,462	14,294	4,559,786	3,647,828	42.2	
計	70	21,673	151,262	47,393,250	37,914,599	6.2		
い ん げ ん (半 相 殺)	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0.0	
	北海道中央	10	1,572	13,951	4,616,723	3,693,378	64.0	
	十 勝	37	10,909	88,305	28,746,284	22,997,026	14.9	
	北海道ひがし							
	オホーツク	9	2,049	14,910	5,844,404	4,675,523	50.1	
計	56	14,530	117,166	39,207,411	31,365,927	18.4		

(注) 1. 「全相殺・青申以外」とは出荷数量等調査により損害評価を行う全相殺方式である。

2. 計と合計の組合員数は、実組合員数を示す。

## (令和3年産)

再保険 区分	共済目的 の種類	組 合 名	被 害 組合員数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	金 額 被害率
			戸	a	kg	円	円	%
第 一 区 分	てん菜(全相殺・ 青申以外)	みなみ北海道	67	49,317	1,905,996	31,818,038	25,454,429	1.4
		北海道中央	321	174,986	14,444,347	244,332,098	195,465,678	8.7
		十 勝	118	125,191	6,495,404	110,787,072	88,629,657	0.5
		北海道ひがし	5	10,408	448,437	7,703,663	6,162,930	2.3
		オホーツク	510	547,280	24,566,269	434,619,044	347,695,235	2.0
		計	1,021	907,182	47,860,453	829,259,915	663,407,929	1.6
	青(ホ 申以外 相殺)	北海道中央	2	196	236	516,840	413,472	5.2
		計	2	196	236	516,840	413,472	5.2
	そ ば	みなみ北海道	21	10,378	16,268	7,174,348	5,739,478	4.7
		北海道中央	449	298,782	456,777	208,463,030	166,770,424	12.9
		十 勝	17	10,725	28,861	15,180,886	12,144,708	5.1
		北海道ひがし	4	8,714	14,957	7,867,382	6,293,905	7.6
		オホーツク	8	3,810	21,101	11,099,126	8,879,300	8.8
		計	499	332,409	537,964	249,784,772	199,827,815	10.9
	ス イ ー ト コ ー ン	みなみ北海道	31	5,040	124,358	11,717,444	9,373,955	7.7
		北海道中央	109	28,437	1,030,332	92,682,957	74,146,365	28.4
		十 勝	101	26,458	425,199	27,325,244	21,860,194	3.0
		北海道ひがし						
		オホーツク	37	16,497	343,203	11,116,326	8,893,060	6.4
		計	278	76,432	1,923,092	142,841,971	114,273,574	9.1
	か ぼ ち ゃ	みなみ北海道	60	13,107	154,159	16,793,165	13,434,532	4.6
北海道中央		147	37,492	711,775	79,953,612	63,962,889	8.2	
十 勝		37	12,277	203,072	22,811,060	18,248,848	7.0	
北海道ひがし								
オホーツク		10	4,301	38,959	4,376,259	3,501,007	2.1	
計		254	67,177	1,107,965	123,934,096	99,147,276	6.6	
合 計	みなみ北海道	268	121,676	2,381,072	120,568,696	96,454,954	1.9	
	北海道中央	1,473	1,006,468	18,682,842	1,252,530,984	1,002,024,784	9.4	
	十 勝	387	238,150	7,477,716	270,889,495	216,711,591	0.8	
	北海道ひがし	8	19,609	466,536	16,032,919	12,826,334	3.6	
	オホーツク	683	655,741	25,307,384	568,551,347	454,841,074	2.3	
	計	2,819	2,041,644	54,315,550	2,228,573,441	1,782,858,737	2.8	
前 年 産 実 績		3,150	1,739,676	23,820,884	1,705,280,515	1,364,224,398	2.1	

(注) 3. 計と合計の被害面積は、ラウンドの関係で積上げと一致しない場合がある。

4. 全相殺の被害面積は、共済金支払対象者の引受面積である。

畑作物共済保険金支払実績

(令和2年産)

再保険 区分	項目 共済目的 の種類	支払月日	実支払保険金 円	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金 円
				再 保 険 金 円	手 持 保 険 料 充 当 額 円	法 定 積 立 金 充 当 額 円	特 別 積 立 金 充 当 額 円	そ の 他 円	
第一区分	ばれいしょ	令和3年 7月29日	785,191,244	0	1,420,412,965	0	0	0	100.0
	大豆		0						
	小豆	令和3年 7月29日・12月27日	171,941,438						
	いんげん	令和3年 7月29日・12月27日	404,183,805						
	てん菜		0						
	そば		0						
	スイートコーン	令和3年 7月29日	1,249,156						
	たまねぎ	令和3年 7月29日	57,847,322						
	かぼちゃ		0						
	計		1,420,412,965						

(令和3年産)

再保険 区分	項目 共済目的 の種類	支払月日	実支払保険金 円	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金 円
				再 保 険 金 円	手 持 保 険 料 充 当 額 円	法 定 積 立 金 充 当 額 円	特 別 積 立 金 充 当 額 円	そ の 他 円	
第一区分	大豆 (半相殺)	令和3年 12月27日	172,649	0	1,782,858,737	0	0	0	100.0
	大豆 (全相殺1類・3類)	令和4年 3月30日	628,248,245						
	大豆 (全相殺4類)	令和3年 12月27日	8,087,251						
	小豆 (半相殺)	令和3年 12月27日	37,914,599						
	いんげん (半相殺)	令和3年 12月27日	31,365,927						
	てん菜	令和4年 1月27日	663,407,929						
	ホップ	令和3年 12月27日	413,472						
	そば	令和4年 3月30日	199,827,815						
	スイートコーン	令和4年 1月27日	114,273,574						
	かぼちゃ	令和4年 1月27日・3月30日	99,147,276						
	計		1,782,858,737						

(合 計)

再保険 区分	項目 共済目的 の種類	支払月日	実支払保険金 円	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金 円
				再 保 険 金 円	手 持 保 険 料 充 当 額 円	法 定 積 立 金 充 当 額 円	特 別 積 立 金 充 当 額 円	そ の 他 円	
	合 計	—	3,203,271,702	0	3,203,271,702	0	0	0	100.0

## (組 合 別)

目 組 合 名	支払月日	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
みなみ北海道	令和3年7月29日、12月27日、令和4年1月27日、3月30日	円 223,961,197	円 179,168,951	円 44,699,362	円 46,891	円 0	円 0	% 100.0
北海道中央	令和3年7月30日、12月28日、令和4年1月28日、3月31日	1,353,760,697	1,083,008,548	241,059,495	61,443	16,980	29,614,231	100.0
十勝	令和3年7月30日、12月27日、令和4年1月28日、3月30日	1,468,785,399	1,175,028,312	252,635,431	0	8,356,279	32,765,377	100.0
北海道ひがし	令和3年7月29日、12月27日、令和4年1月27日、3月30日	16,716,890	13,373,509	3,337,477	0	0	5,904	100.0
オホーツク	令和3年7月29日、9月30日、12月28日、令和4年1月28日、3月30日	940,865,487	752,692,382	187,367,210	0	0	805,895	100.0
合 計	—	4,004,089,670	3,203,271,702	729,098,975	108,334	8,373,259	63,191,407	100.0

## (合 計)

再保険 区 分	共済目的の種類	組 合 名	被 害 組 合 員 数	被 害 面 積	共 済 減 収 量	共 済 金	保 険 金	金 額 被 害 率
			戸	a	kg	円	円	%
合 計		みなみ北海道	457	188,640	3,917,802	223,961,197	179,168,951	2.3
		北海道中央	1,721	1,079,999	20,338,896	1,353,760,697	1,083,008,548	6.7
		十 勝	1,690	1,071,937	23,483,344	1,468,785,399	1,175,028,312	2.2
		北海道ひがし	15	22,019	505,548	16,716,890	13,373,509	1.8
		オホーツク	1,342	1,073,846	35,721,317	940,865,487	752,692,382	1.6
		計	5,225	3,436,441	83,966,907	4,004,089,670	3,203,271,702	2.6
	前 年 産 実 績		4,722	2,487,320	42,023,964	2,637,127,120	2,109,701,665	1.7

- (注) 1. 合計と前年度実績の組合員数は、令和2（平成31）年産と令和3（令和2）年産の組合員数を合計したものであり延戸数である。  
2. 計と合計の被害面積は、ラウンドの関係で積上げと一致しない場合がある。  
3. 全相殺の被害面積は、共済金支払対象者の引受面積である。



## (損害防止関係)

<組合等名：北海道農業共済組合連合会>

麦・畑作物の損害防止事業の効果的実施の支援と畑作物共済の加入定着に資するため、損害防止用農業機械の貸付事業を実施し、令和3年度は新規に12台を貸付して病虫害等による損害の未然防止に努めました。

(損害防止用農業機械の貸付状況)

共済事業名	種 別	令和3年度末 現在貸付台数	左のうち 令和3年度 貸付台数	貸 付 組合数
麦畑作物	マウント型ブーム	56 台	8 台	組合 4
	牽引型ブーム	15	2	4
	融雪剤散布機	5	2	2
	堆肥散布機	3	0	2
	精密除草機	3	0	1
	レーザーレベラー	1	0	1
合 計		83	12	4

(注) 貸付組合数欄の合計は、実組合数を表す。

(防除等実績)

共済事業名	種 別	防除等実績			
		戸数	延面積	平均 回数	防除等期間
麦畑作物	マウント型ブーム	544 戸	31,275 ha	7.0 回	4.1~11.20
	牽引型ブーム	172	12,043	7.6	4.11~11.20
	融雪剤散布機	54	1,050	1.3	2.28~3.20
	堆肥散布機	6	82	4.0	4.1~12.10
	精密除草機	3	92	4.7	6.5~8.15
	レーザーレベラー	3	9	3.0	5.1~10.1
合 計		782			2.28~12.10

(注) 1. 本表は、令和3年度に貸付中の連合会貸付損害防止用農業機械に係る防除等実績である。

2. マウント型ブーム、牽引型ブーム、精密除草機の戸数は延戸数、融雪剤散布機、堆肥散布機、レーザーレベラーの戸数は実戸数で合計は延べ戸数である。

## 6. 園芸施設共済

### (引受関係)

令和3年度の引受推進は、関係機関の協力のもと新規就農者や法人等を含めた有資格棟数の適正把握に努め、戸数加入率8割に少しでも近づくよう継続引受の確保並びに新規加入者の加入拡大を図り推進しました。

令和2年度は制度改正に伴う年度内2度引受が多数発生しましたが、令和3年度は年度内2度引受が前年度と比較して大幅に減少したため、令和3年度の引受延棟数は前年より13,940棟減少し、85,109棟（対前年比85.9%）となり、事業計画に対して3,009棟の増（対計画比103.7%）となりました。実棟数は前年度と比較して1,205棟の減（対前年比98.5%）となりました。また、農家選択による加入対象については、施設内農作物は4,163棟（対前年比52.1%、対計画比61.5%）、撤去費用は12,129棟（対前年比73.1%、対計画比105.6%）、復旧費用は10,629棟（対前年比56.0%、対計画比82.0%）と、施設内農作物は収入保険への移行が影響し計画を大きく下回りました。

総共済金額は、プラスチックハウスⅡ類を中心として本体標準価額が上昇したことにより、前年より202億4,614万円増の761億9,993万円となりました。

### (被害及び損害評価関係)

被害発生棟数は、前年より286棟増の1,672棟となりました。

主な被害は、6月に発生した低気圧の通過に伴う強風等により、空知管内を中心として421棟の被害が発生したほか、12月には低気圧の通過に伴う強風等により、十勝管内を中心として259棟の被害が発生しました。また、1月から3月にかけての断続的な降雪及び暴風雪により、石狩、道南、空知、十勝管内を中心に施設の倒壊などが相次ぎ、特に3月には未被覆状態の施設を中心として341棟の被害が発生しました。累計では被害棟数及び支払共済金ともに前年度を上回りました。

損害評価は全組合で実施し、令和3年度事故に係る支払共済金は3億5,196万円（金額被害率0.7%）、保険金は2億8,156万円となり、連合会保険収支は4,536万円の剰余となりました。

園芸施設共済引受実績

施設区分		項目	組合名	組合員数	引受棟数		設置面積	共済価額
ガラス室	Ⅱ類		みなみ北海道	戸		棟	m <sup>2</sup>	円
			計	1		1	273	3,143,595
				1		1	273	3,143,595
プラスチックハウス	Ⅱ類	みなみ北海道	2,728	(3,891)	30,729	10,008,469	29,198,010,412	
		北海道中央	4,930	(1,328)	44,127	15,335,635	43,050,019,675	
		十勝	1,289	(21)	2,419	611,724	2,506,393,088	
		北海道ひがし	26	(5)	143	38,204	108,639,597	
		オホーツク	1,690	(16)	6,390	2,048,163	7,874,189,315	
		計	10,663	(5,261)	83,808	28,042,195	82,737,252,087	
	Ⅲ類	みなみ北海道	6		7	1,320	4,498,861	
		北海道中央	1		1	1,080	9,253,722	
			計	7		8	2,400	13,752,583
	Ⅳ類甲	みなみ北海道	88	(16)	187	84,569	762,622,867	
		北海道中央	53		80	40,022	345,702,944	
		十勝	19		19	8,599	107,499,010	
		オホーツク	8		8	2,831	36,858,231	
		計	168	(16)	294	136,021	1,252,683,052	
Ⅳ類乙	みなみ北海道	12	(1)	22	15,540	191,919,015		
	北海道中央	23	(4)	62	51,065	694,364,760		
	オホーツク	40		48	17,646	218,524,594		
	計	75	(5)	132	84,251	1,104,808,369		
Ⅴ類	みなみ北海道	14	(8)	60	31,279	505,475,569		
	北海道中央	4		4	2,875	34,059,519		
	十勝	3		4	2,890	54,458,593		
	オホーツク	190		280	89,947	830,213,159		
	計	211	(8)	348	126,991	1,424,206,840		
Ⅵ類	みなみ北海道	79	(19)	374	389,198	770,597,972		
	北海道中央	10		144	21,041	48,343,968		
	計	89	(19)	518	410,239	818,941,940		
合計	みなみ北海道	2,770	(3,935)	31,380	10,530,648	31,436,268,291		
	北海道中央	4,936	(1,332)	44,418	15,451,718	44,181,744,588		
	十勝	1,305	(21)	2,442	623,213	2,668,350,691		
	北海道ひがし	26	(5)	143	38,204	108,639,597		
	オホーツク	1,837	(16)	6,726	2,158,587	8,959,785,299		
	計	<b>10,874</b>	<b>(5,309)</b>	<b>85,109</b>	<b>28,802,370</b>	<b>87,354,788,466</b>		
前年度実績			10,973	(18,044)	99,049	33,501,328	63,341,635,101	

(注) 1. 合計の組合員数は、実組合員数を示す。

2. 引受棟数は延数で示し、( )内は、年度内複数回引受の棟数を内数で示す。

共 済 金 額	保 険 金 額	総共済掛金	農家負担掛金	徴収保険料	有資格棟数	引受棟数(実) 有資格棟数
円	円	円	円	円	棟	%
2,514,876	2,011,900	1,358	679	407		
2,514,876	2,011,900	1,358	679	407		
24,696,466,234	19,757,161,317	251,359,833	134,819,036	84,534,945		
38,720,115,587	30,976,075,961	319,270,489	182,608,389	118,736,806		
2,236,358,485	1,789,085,972	22,815,720	14,711,750	10,147,632		
86,911,616	69,529,240	775,997	397,117	241,864		
6,517,361,345	5,213,886,510	54,375,081	31,887,412	21,009,853		
72,257,213,267	57,805,739,000	648,597,120	364,423,704	234,671,100		
3,910,267	3,128,212	22,367	11,615	7,138		
7,402,977	5,922,381	59,529	56,745	44,839		
11,313,244	9,050,593	81,896	68,360	51,977		
633,930,625	507,144,437	4,561,534	2,398,667	1,486,280		
303,161,156	242,528,905	2,163,089	1,192,446	759,799		
100,631,857	80,505,478	541,999	346,705	238,299		
29,486,582	23,589,262	250,296	126,933	76,872		
1,067,210,220	853,768,082	7,516,918	4,064,751	2,561,250		
158,477,583	126,782,058	447,352	255,573	166,093		
628,191,362	502,553,059	1,727,719	991,739	646,170		
175,314,810	140,251,829	470,369	248,993	154,899		
961,983,755	769,586,946	2,645,440	1,496,305	967,162		
484,246,795	387,397,408	462,774	320,939	228,357		
32,565,014	26,052,010	34,923	23,564	16,577		
44,277,763	35,422,210	38,425	21,258	13,572		
682,613,705	546,090,845	694,055	370,748	231,828		
1,243,703,277	994,962,473	1,230,177	736,509	490,334		
614,443,889	491,554,975	7,198,163	3,719,788	2,280,002		
41,549,631	33,239,636	557,368	307,886	196,355		
655,993,520	524,794,611	7,755,531	4,027,674	2,476,357		
26,593,990,269	21,275,180,307	264,053,381	141,526,297	88,703,222	42,029	65.3
39,732,985,727	31,786,371,952	323,813,117	185,180,769	120,400,546	62,229	69.2
2,381,268,105	1,905,013,660	23,396,144	15,079,713	10,399,503	3,889	62.3
86,911,616	69,529,240	775,997	397,117	241,864	496	27.8
7,404,776,442	5,923,818,446	55,789,801	32,634,086	21,473,452	8,576	78.2
<b>76,199,932,159</b>	<b>60,959,913,605</b>	<b>667,828,440</b>	<b>374,817,982</b>	<b>241,218,587</b>	<b>117,219</b>	<b>68.1</b>
55,953,789,567	44,762,999,068	444,953,673	250,466,123	161,435,916	119,480	67.8

園芸施設共済被害状況

施設区分	項目	組合名	被害			損害の額	共済金	保険金	金額被害率
			組合員数	棟数	附帯施設数				
ガラス室	II類	みなみ北海道	戸	棟	基	円	円	円	%
		計	0	0	0	0	0	0	0.0
プラスチックハウス	II類	みなみ北海道	256	624	0	149,777,836	131,771,719	105,417,164	0.8
		北海道中央	228	498	0	100,115,708	91,861,900	73,489,338	0.4
		十勝	181	218	0	70,337,061	61,853,550	49,482,748	4.0
		北海道ひがし	3	7	0	624,251	499,398	399,514	0.9
		オホーツク	160	205	0	35,017,482	28,659,923	22,927,866	0.6
		計	828	1,552	0	355,872,338	314,646,490	251,716,630	0.6
	III類	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央	0	0	0	0	0	0	0.0
		計	0	0	0	0	0	0	0.0
	IV類甲	みなみ北海道	5	5	0	3,262,492	2,612,514	2,090,009	0.6
		北海道中央	1	1	0	29,543	29,542	23,633	0.0
		十勝	1	1	0	18,818	18,817	15,053	0.0
		オホーツク	2	3	0	323,982	259,185	207,347	1.4
		計	9	10	0	3,634,835	2,920,058	2,336,042	0.4
	IV類乙	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央	4	16	0	12,727,902	12,727,890	10,182,306	2.9
		オホーツク	3	5	0	3,270,693	2,601,048	2,080,837	2.0
	計	7	21	0	15,998,595	15,328,938	12,263,143	2.3	
	V類	みなみ北海道	0	0	0	0	0	0	0.0
		北海道中央	0	0	0	0	0	0	0.0
		十勝	0	0	0	0	0	0	0.0
		オホーツク	28	31	0	5,948,013	4,773,395	3,818,705	0.9
	計	28	31	0	5,948,013	4,773,395	3,818,705	0.5	
	VI類	みなみ北海道	6	54	0	18,970,819	13,419,695	10,735,730	2.7
北海道中央		1	4	0	1,084,780	867,824	694,257	0.7	
計		7	58	0	20,055,599	14,287,519	11,429,987	2.3	
合計	みなみ北海道	263	683	0	172,011,147	147,803,928	118,242,903	0.8	
	北海道中央	234	519	0	113,957,933	105,487,156	84,389,534	0.4	
	十勝	182	219	0	70,355,879	61,872,367	49,497,801	3.7	
	北海道ひがし	3	7	0	624,251	499,398	399,514	0.9	
	オホーツク	190	244	0	44,560,170	36,293,551	29,034,755	0.7	
	計	872	1,672	0	401,509,380	351,956,400	281,564,507	0.7	
前年度実績			629	1,386	0	361,318,604	312,055,062	249,643,533	0.6

(注) 1. 合計の組合員数は、実組合員数を示す。

2. それぞれの項目は、令和3年度に発生した事故分で、前年度に発生した事故の令和3年度支払分は含まない。

3. 前年度実績は、令和2年度に発生した事故で、令和3年度の追加支払分を含む。

園芸施設共済保険金支払実績

支払保険金	保 険 金 支 払 財 源					実支払 保険金 保険金
	再保険金	手持保険料 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
295,630,074	116,928,984	178,701,090	0	0	0	100.0

- (注) 1. 保険収支：45,356,053円  
 2. 手持保険料は、本年度徴収保険料241,313,496円＋本年度交付金46,540,181円＋責任準備金戻入145,378,627円＋支払備金戻入4,955,328円－本年度責任準備金繰入210,597,199円－本年度支払備金繰入3,533,290円  
 3. 支払保険金及び再保険金には、令和2年度事故の撤去費用及び復旧費用に係る令和3年度支払（受領）分を含む。

園芸施設共済共済金支払実績（組合別）

組 合 名	項 目	実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源				実支払 共済金 共済金
			保険金	手持掛金 充 当 額	法定積立金 充 当 額	特別積立金 充 当 額	
		円	円	円	円	円	%
みなみ北海道		149,000,767	119,200,374	29,800,393	0	0	100.0
北海道中央		121,872,285	97,497,630	24,374,655	0	0	100.0
十勝		61,872,367	49,497,801	4,680,741	0	0	100.0
北海道ひがし		499,398	399,514	99,884	0	0	100.0
オホーツク		36,293,551	29,034,755	7,258,796	0	0	100.0
合 計		369,538,368	295,630,074	66,214,469	0	0	100.0

- (注) 実支払共済金及び保険金には、令和2年度事故の撤去費用及び復旧費用に係る令和3年度支払（受領）分を含む。

(損害防止関係)

園芸施設の損害防止事業の効果的実施の支援と園芸施設共済の加入定着に資するため、損害防止用農業機械の貸付事業を実施し、令和3年度は新規に1台を貸付して損害の未然防止に努めました。

(防除等機械の貸付状況)

共 済 事 業 名	種 別	令和3年度末 現在貸付台数	左のうち 令和3年度 貸付台数	貸付組合数
園 芸 施 設	園芸用防除機	1	0	1
	除 雪 機	10	1	2
合 計		11	1	2

- (注) 貸付組合数欄の合計は、実組合数を表す。

(防除等実績)

共 済 事 業 名	種 別	防除等実績			
		戸数	延面積	平均回数	防除等期間
園 芸 施 設	園芸用防除機	1	5	10.0	4.10～9.15
	除 雪 機	25	160	7.7	12.1～3.30
合 計		26			4.10～3.30

- (注) 1. 本表は、令和3年度に貸付中の連合会貸付防除等機械に係る防除等実績である。  
 2. 戸数は実戸数で合計は延べ戸数である。

## 7. 保管中農産物補償共済

### (引受関係)

Aタイプ（責任期間120日）の引受口数134口、Bタイプ（責任期間1年）の引受口数32口、計166口、総共済金額は1億6,600万円となり、うち米の引受口数が101口（60.8%）となりました。

### (被害及び損害評価関係)

本年度において、被害は発生しませんでした。

### 保管中農産物補償共済引受実績

項目 組合名	組合 員数	口 数		再保険金額 (共済金額) 円	再保険料 (共済掛金) 円	事務費賦課金			
		Aタイプ	Bタイプ			組合分	連合会分	全国連分	計
みなみ北海道	戸 10	口 27	口 5	円 32,000,000	円 70,000	円 22,516	円 3,000	円 4,484	円 30,000
北海道中央	17	57	26	83,000,000	218,050	70,129	9,345	13,976	93,450
十 勝	6	43	0	43,000,000	75,250	24,209	3,225	4,816	32,250
オホーツク	3	7	1	8,000,000	16,800	5,404	720	1,076	7,200
合 計	36	134	32	166,000,000	380,100	122,258	16,290	24,352	162,900
前年度実績	44	151	28	179,000,000	391,650	125,977	16,785	25,088	167,850

項目 組合名	内 訳				
	米	麦	大 豆	果 樹	その他
みなみ北海道	口 24	口 1	口 5	口	口 2
北海道中央	76	4	3		
十 勝		20	10		13
オホーツク	1		1		6
合 計	101	25	19	0	21
前年度実績	141	0	9	0	29

### 保管中農産物補償共済被害状況

項目 組合名	被 害 組合員数	支払再保険金 (支払共済金)	金 額 被害率
みなみ北海道	戸 0	円 0	% 0.0
北海道中央	0	0	0.0
十 勝	0	0	0.0
オホーツク	0	0	0.0
合 計	0	0	0.0
前年度実績	0	0	0.0

## 8. 研 修 所 関 係（北海道農業共済組合連合会主催分）

### （1）組合役職員の資質向上

新型コロナウイルス感染症の影響により、基本的にリモート研修で開催しましたが、一部研修については、感染症予防対策を徹底した環境で少人数による集合研修を開催しました。

職員を対象とした階層別研修（一般）では、新規採用職員に対する社会人基礎力の習得、採用3年目職員に対する業務意欲の向上、各職務階層における立場・役割の習得と職務遂行能力の向上に努めたほか、階層別研修（獣医師）では、新規獣医師臨床研修会及び経験年数に応じた研修会を開催し、各階層に応じた知識・技術の習得に努めました。

さらに、組合及び関係機関等が主催する講習・研修会に連合会職員が講師として対応し、組合の人材育成支援に努めるとともに、関係機関等への協力と連携強化を図りました。

### 組合対象研修会開催状況

区分	研 修 会 名	対 象 者	開 催 日	開催日数	参加人員	開催場所
階層別（一般）	新規採用職員研修会	新規採用職員	4月1日～30日	30日	62名	eラーニング
	3年目職員フォローアップ研修会	3年目職員	1月25日～3月7日	5班 各1日	60名	リモート
	主幹・係長・主任研修会	主幹・係長・主任職員	1月24日	1日	18名	リモート
	管理職研修会	課長・課長補佐等職員	7月15日	1日	17名	リモート
	経営幹部研修会	部長・所長等職員	【受講希望者僅少のため開催中止】			
部門別	担当者基礎実務研修会 （4コース）	担当職員	8月9日～2月28日	—	99名	eラーニング
専門実務・技術	人事考課研修会	管理職員	7月19日～9月3日	各組合 2日	168名	組合本所 一部リモート
	家畜診療所運営研修会	家畜診療所運営幹部職員	9月7日	1日	14名	リモート
	農畑作物関連栽培技術等研修会	農作等担当職員	2月24日	1日	15名	リモート
	保険セールステクニック研修会	加入推進担当職員	8月17日	1日	50名	リモート
	クレーム対応研修会	管理職員	2月16日	1日	29名	リモート
階層別（獣医師）	新規獣医師臨床研修会	新規獣医師職員	5月10日～11月19日	7班 4,3週	51名	研修所
	獣医師就業支援研修会	中途採用等獣医師職員	【開催中止】			
	獣医師臨床研修会（Ⅰ期）	卒後6年目獣医師職員	11月29日～1月18日	3班 各2日	35名	研修所
	獣医師臨床研修会（Ⅱ期）	卒後11年目獣医師職員	12月6日～12月9日	2班 各2日	17名	研修所
専門	馬臨床技術向上研修会 （繁殖効率向上技術研修会）	獣医師職員	4月5日～4月23日	3班 各4日	9名	音更町
	馬臨床技術向上研修会 （外科診療技術向上研修会）	獣医師職員	9月29日～10月1日	3日	5名	新ひだか町
	獣医師専門技術研修会	中堅獣医師職員	7月13日～1月14日	3回 各3日	8名	研修所
合 計					657名	



## (2) 生産獣医療等技術支援

組合から依頼された難症家畜の診療、治療対処方法等の照会に対する技術指導に努めたほか、乳房炎防除対策技術支援を行いました。

### ア. 診療等技術支援

項 目	件 数	内 訳	
1. 難症患者等に対する診療援助	701件	現地出向	27件
		宅診入院	527件
		電話・文書等	147件
2. 病性鑑定に対する協力援助	920件	血液検査	861件
		微生物検査	59件
		その他	0件
計	1,621件		

### イ. 乳房炎防除対策技術支援

組合数	1組合 (実)
出向日数	4日
対象農家数	4戸
検査頭数	0頭
防除頭数	165頭
電話文書等	11回

### ウ. 調査研究・発表事例

項 目	件 数	発 表
乳 房 炎 関 係	1件	令和3年度 中堅獣医師講習会発表会
内 科 ・ 外 科 関 係	2件	令和3年度 日本産業動物獣医学会(北海道地区) 令和3年度 しゃくなげ会(北海道地区)
計	3件	

## 9. 業 務 関 係

<組合等名：みなみ北海道農業共済組合>

### (1) 重要な処理事項

年 月 日	付 議 事 項
令和3年	
4月2日	棚卸監査
4月26～28日	第1回理事会・第1回監事会・定時監査
5月28日	第2回理事会・第5回通常総代会
6月14日	第1回余裕金運用管理委員会・第3回理事会・第1回役員協議会
6月21日	第1回総務委員会
7月5日	第1回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
7月9日	第4回理事会
8月6日	第1回損害評価会（果樹部会）・第1回内部監査（石狩支所）
8月10日	第1回家畜委員会
8月20日	第2回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
8月26日	第5回理事会・第2回家畜委員会
10月1日	中間棚卸監査
10月4日	コンプライアンス改善委員会・情報セキュリティ委員会・衛生委員会・第3回家畜委員会
10月7日	第2回総務委員会
10月18日	第2回余裕金運用管理委員会・第6回理事会・第2回役員協議会
10月26日	第3回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
10月27日	第2回監事会・定時監査
11月11日	第2回損害評価会（果樹部会）
11月16日	第4回家畜委員会・第7回理事会
11月25日	第1回損害評価会（家畜部会）
11月30日	第4回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
12月9日	第1回農作委員会・第8回理事会・第3回役員協議会
12月28日	第5回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
令和4年	
1月14日	第3回余裕金運用管理委員会・第5回家畜委員会・第9回理事会
2月1日	第1回家畜診療所運営委員会
2月2日	地区別総代協議会（日高）
2月3日	地区別総代協議会（道南）
2月4日	地区別総代協議会（後志）
2月7日	地区別総代協議会（いぶり）
2月18日	第6回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
2月28日	地区別総代協議会（石狩）
3月8日	第3回総務委員会・第4回余裕金運用管理委員会・第10回理事会・第6回家畜委員会
3月9日	第7回損害評価会（農畑作物・園芸施設部会）
3月18日	第7回臨時総代会・第11回理事会

## (2) 総代会

### ア. 通常総代会（令和3年5月28日）

総代会日現在 総代数	A	199人
本人出席	B	9人（出席率 $B/A=4.5\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		187人
出席者計	C	196人（出席率 $C/A=98.5\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 令和2年度業務報告書の承認について 2. 合併の承認について 3. 合併予備契約及び覚書の締結について 4. 設立委員の選任について 5. 特定組合設立契約の締結について 6. 令和3年度事業計画の設定について 7. 令和3年度事務費賦課額および徴収方法について 8. 役員・損害評価会委員等報酬の承認について 9. 特別積立金の取崩しについて 10. 借入金の最高限度額について 11. 定款の一部変更について 12. 事業規程の一部変更について 13. 役員退任慰労金の支給について 14. 農業共済事業のニーズ調査結果について		

### イ. 臨時総代会（令和4年3月18日）

総代会日現在 総代数	A	197人
本人出席	B	17人（出席率 $B/A=8.6\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		162人
出席者計	C	179人（出席率 $C/A=90.9\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について 2. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について 3. 果樹共済事務費賦課単価の設定について 4. 畑作物共済事務費賦課単価の設定について 5. 家畜の開業カルテ処理料の事務費賦課設定について		

(3) 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
7,098人	6,753人	△345人

(4) 役職員その他

ア. 役職員

(令和4年3月31日現在)

役員数		理事(定数20人)					監事(定数3人)			合計			
		常勤 0人		非常勤 20人			3人			23人			
職員数	項目	業務専任の職員						家畜診療の職員				計	
	性別	参事	総務	農作	家畜	内部 監査	支所等	小計A	獣医師	授精師	事務	小計B	A+B
	男	1	12	4	3	1	(1) 70	(1) 91	(3) 101	14	1	(3) 116	(4) 207
	女	0	1	0	1	0	(11) 17	(11) 19	(1) 38	1	(18) 20	(19) 59	(30) 78
計		1	13	4	4	1	(12) 87	(12) 110	(4) 139	15	(18) 21	(22) 175	(34) 285

(支所別内訳)

本所	1	13	4	4	1	-	23	-	-	-	-	23
石狩支所	-	-	-	-	-	18(2)	18(2)	18	0	4(4)	22(4)	40(6)
後志支所	-	-	-	-	-	12(1)	12(1)	10	0	1(1)	11(1)	23(2)
道南支所	-	-	-	-	-	24(5)	24(5)	48(3)	4	8(8)	60(11)	84(16)
いぶり支所	-	-	-	-	-	17(1)	17(1)	23	0	2(1)	25(1)	42(2)
日高支所	-	-	-	-	-	16(3)	16(3)	40(1)	11	6(4)	57(5)	73(8)

(注) 1. ( )内は、準職員数で内数である。

2. 上記ほか、総務部配属派遣職員1名、北海道農業共済組合連合会から出向を受け入れている職員4名。

イ. 総代、損害評価会委員、家畜診療所運営委員、地区損害評価員、NOSAI部長

総代(定数204人) (選挙)		損害評価会の委員				家畜診療所運営委員	代表 評価員	地区 損害評価員	NOSAI部長	
選出区数	総代数	委員数	部会の委員数						集落数 (実行組合)	NOSAI 部長
区	人	人	農畑・園芸 部会	家畜 部会	果樹	人	人	集落	人	
29	197	23	15	5	3	21	151	463	1,236	877

(支所別内訳)

石狩支所	98	98	219
後志支所	7	73	155
道南支所	15	104	226
いぶり支所	21	135	164
日高支所	10	53	113

<組合等名：北海道中央農業共済組合>

(1) 重要な処理事項

年 月 日	付 議 事 項
令和3年	
4月1日	第1回監事会・薬品棚卸監査
4月13日	損害評価会 第1回果樹共済部会
4月19～20日	第2回監事会・決算監査
4月23日	第1回余裕金運用管理委員会・第1回理事会・第3回監事会
4月26～30日	各支所総代協議会
5月28日	第5回通常総代会
6月7日	第1回家畜専門委員会
6月9日	第1回総務専門委員会
6月16日	第2回理事会
6月29日	損害評価会 第1回農作物共済部会・損害評価会 第1回畑作物共済部会
7月12日	第1回農作専門委員会
7月15～16日	新卒獣医師採用試験 (Web面接)
7月29日 ～8月13日	第1回内部監査(本所・各支所)
8月12日	損害評価会 第2回農作物共済部会
8月19日	第2回余裕金運用管理委員会・第3回理事会・第1回役員協議会
9月7日	第2回家畜専門委員会
10月12～13日	第3回監事会・臨時監査・第4回監事会
10月22日	第3回余裕金運用管理委員会・第4回理事会・損害評価会 第3回農作物共済部会
11月8日	臨時監査
11月9～10日	第5回監事会・中間監査
11月12日	損害評価会 第2回畑作物共済部会
11月29日	第2回農作専門委員会
12月1日	損害評価会 第1回家畜共済部会
12月3日	損害評価会 第4回農作物共済部会
12月6日	第3回家畜専門委員会
12月9～21日	第2回内部監査(本所・各支所)
12月10日	第2回総務専門委員会
12月20日	第5回理事会
令和4年	
1月7日	損害評価会 第3回畑作物共済部会
1月17日	第6回理事会
1月19～20日	事業推進懇談会 (宗谷)
2月18日	第4回家畜専門委員会・第3回農作専門委員会
2月21日	第4回余裕金運用管理委員会・第7回理事会
2月22日	損害評価会 第5回農作物共済部会
3月8日	損害評価会 第4回畑作物共済部会
3月9日	第9回臨時総代会
3月14日	第5回家畜専門委員会
3月18日	第8回理事会・第3回総務専門委員会
3月24日	損害評価員会代表者協議会

## (2) 総代会

### ア. 通常総代会（令和3年5月28日）

総代会日現在 総代数	A	140人
本人出席	B	18人（出席率 $B/A=12.9\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		122人
出席者計	C	140人（出席率 $C/A=100\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 令和2年度業務報告書の承認について 2. 合併の承認について 3. 合併予備契約及び覚書の締結について 4. 設立委員の選任について 5. 特定組合設立契約の締結について 6. 令和3年度事業計画の設定について 7. 令和3年度事務費賦課額及び徴収方法について 8. 役員退任功労金の支給について 9. 損害評価会委員の補充選任について 10. 役員・損害評価会委員等の報酬について 11. 定款の一部変更について 12. 事業規程の一部変更について 13. 借入金の最高限度額等について		

### イ. 臨時総代会（令和4年3月9日）

総代会日現在 総代数	A	139人
本人出席	B	9人（出席率 $B/A=6.5\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		123人
出席者計	C	132人（出席率 $C/A=95.0\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について 2. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について 3. 事務費賦課単価の設定について 4. 固定資産（建物）の取得について 5. 令和3年度業務収支予算の変更について		

(3) 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
11,404人	11,115人	△289人

(4) 役職員その他

ア. 役職員

(令和4年3月31日現在)

役員数		理事(定数22人)					監事(定数3人)	合計		
		常勤	1人	非常勤	21人	計	22人	3人	25人	
職員数	事項	専任職員数								
	性別	業務専任の職員				家畜診療所の職員			計	
		参事	総務	農作	家畜	小計A	獣医師	授精師	小計B	A+B
	男	1人	49人	75人	33人	158人	106人	2人	108人	266人
	女		14人	10人	25人	49人	26人	1人	27人	76人
計	1	63	85	58	207	132	3	135	342	

イ. 総代・損害評価会委員・損害評価員・共済部長

(令和4年3月31日現在)

総代 (定数140人)		損害評価会委員					損害評価員		共済部長		
選挙区数	総代数	委員数	部会の委員数					地区数	評価員数	地区数	部長数
			農作	家畜	果樹	畑作	園芸施設				
区	人	人	人	人	人	人	人	地区	人	地区	人
18	139	38	16	10	3	8	17	85	1,002	1,642	1,488

(注) 損害評価会の園芸施設共済部会委員は、農作物共済部会委員が兼務する。

<組合等名：十勝農業共済組合>

(1) 重要な処理事項

年 月 日	付 議 事 項
令和3年	
4月1日	決算棚卸監査・第1回監事会
4月15日	第1回管理職会議
4月19日	第1回合併新組合設立委員推薦会議
4月22日	第1回損害評価会農・畑作物共済部会
4月26日	第1回余剰金運用管理委員会・第1回事業委員会・第1回総務委員会・第1回事務審査委員会
4月27日	第1回理事会
4月28日	定時監査（決算監査）
5月28日	第2回理事会・第23回通常総代会
6月2日	第3回理事会・役員協議会・第2回総務委員会・第2回事業委員会・第2回監事会
6月23日	第2回損害評価会農・畑作物共済部会
7月12日	総代代表者・NOSAI部長地区代表者合同会議
7月13～14日	内部監査・共同監査
7月27日	第2回余剰金運用管理委員・第3回総務委員会
8月11～30日	地区別総代・NOSAI部長合同会議
8月20日	第3回損害評価会農・畑作物共済部会
8月25日	第4回総務委員会
8月27日	第4回理事会役員協議会
10月12～14日	常例検査
10月22日	大樹・広尾地区総代・NOSAI部長合同会議
10月25日	第3回余剰金運用管理委員会・第5回総務委員会・第3回事業委員会
10月26日	中間監査
10月27～28日	第2回内部監査・共同監査
10月29日	役員研修会・第5回理事会・役員協議会・第2回事務審査委員会
11月5日	第3回損害評価会農・畑作物共済部会
11月30日	第6回総務委員会・第6回理事会
12月3日	総代代表者・役員合同会議・役員協議会
12月8日	第4回損害評価会農・畑作物共済部会
12月13～14日	第3回内部監査・共同監査
12月22日	第5回損害評価会農・畑作物共済部会
12月24日	第3回監事会・第7回理事会・役員協議会・第1回コンプライアンス改善委員会
令和4年	
1月13～20日	臨時監査・内部監査
1月20日	第4回監事会
1月21日	第4回余剰金運用管理委員会・第4回事業委員会・第7回総務委員会
1月24日	第6回損害評価会農・畑作物共済部会・第1回損害評価会家畜共済部会
1月25日	第8回理事会・第5回監事会
1月31日	第1回特定組合役員推薦責任者会議
2月22日	臨時監査（棚卸監査）・第6回監事会
2月25日	第8回総務委員会・第9回理事会・役員協議会
3月9日	第7回損害評価会農・畑作物共済部会
3月11日	地区別懇談会（西部・東部地区）
3月14日	地区別懇談会（中部・北西部地区）
3月15日	地区別懇談会（南部地区）
3月22日	地区別懇談会（北部地区）
3月25日	総代協議会・第29回臨時総代会・合併新組合役員推薦会議総代代表者・役員合同会議
3月28日	第9回総務委員会・第5回事業委員会



## (2) 総代会

### ア. 通常総代会（令和3年5月28日）

総代会日現在 総代数	A	140人
本人出席	B	17人（出席率 $B/A=12.1\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		123人
出席者計	C	140人（出席率 $C/A=100\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 令和2年度業務報告書の承認について 2. 合併の承認について 3. 合併予備契約および覚書の締結について 4. 設立委員の選任について 5. 特定組合設立契約の締結について 6. 令和3年度事業計画の設定について 7. 令和3年度事務費賦課額について 8. 役員・損害評価会委員等の報酬について 9. 役員退任慰労金の支給について 10. 特別積立金の取崩しについて 11. 定款の一部変更について 12. 事業規程の一部変更について 13. 余裕金預入先金融機関の一部変更について 14. 農作物共済（麦）危険段階別基準共済掛金率の設定について 15. 農業共済事業のニーズ調査結果について 16. 付帯決議の承認について		

### イ. 臨時総代会（令和4年3月25日）

総代会日現在 総代数	A	141人
本人出席	B	15人（出席率 $B/A=10.6\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		125人
出席者計	C	140人（出席率 $C/A=99.3\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 合併による引当基準の見直しに伴う各種引当金等の積み替えについて 2. 令和3年度業務収支予算の変更について 3. 事務費賦課単価および賦課方法の設定について 4. 畑作物共済危険段階別基準共済掛金率の設定について 5. 果樹共済危険段階別基準共済掛金率の設定について		

## (3) 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
4,794人	4,721人	△73人

(4) 役職員その他

ア. 役職員

(令和4年3月31日現在)

役員数		理事 定数 14人			監事 定数 3人			合計		
		常勤 1人	非常勤 13人	計 14人	計 3人			17人		
職員数	項目	業務職員				家畜診療所職員				計 (A)+(B)
		本所		事業所等	小計 (A)	本所	診療所		小計 (B)	
	参事	業務	業務	獣医師			授精師			
	性別	人	人	人	人	人	人	人	人	
	男	1	15	49	65	4	145	1	150	215
	女		9	18	27		45		45	72
	計	1	24	67	92	4	190	1	195	287

イ. 総代・損害評価会委員・地区評価員・NOSA I部長

(令和4年3月31日現在)

総代 (定数 144人)		損害評価会の委員			地区 評価員数	NOSA I部長	
選出区数	総代数	委員数	部会の委員数			集落数	NOSAI 部長数
			農畑作物 共済部会	家畜 共済部会			
19区	141人	16人	12人	4人	154人	680集落	587人

<組合等名：北海道ひがし農業共済組合>

(1) 重要な処理事項

年 月 日	付 議 事 項
令和3年	
4月1日	辞令交付式
4月6日	釧路AI協会役員会（釧路）
4月7日	釧路管内黒毛和種生産振興推進会議（釧路）
4月21日	鹿児島大学Web就職説明会
4月23日	第1回北海道NOSAI Web就職説明会
4月26日	第1回理事会
4月27～28日	定時（決算）監査
4月30日	第1回監事会、東京農工大学Web就職説明会
5月7日	辞令交付式
5月13日	第1回共済事業推進協議会会長会議（テレビ会議）
5月18日	第2回北海道NOSAI Web就職説明会
5月19日	鳥取大学Web就職説明会
5月24日	第3回北海道NOSAI Web就職説明会
5月24～26日	基幹組合員会議（テレビ会議）
5月27日	第2回理事会
5月28日	第7回通常総代会（中標津）
5月31日	酪農学園大学Web就職説明会
6月5日	全国NOSAI協会WEB就職説明会
6月14日	第1回余裕金運用管理委員会、第3回理事会、第1回役員協議会、第1回自動車事故処理委員会
6月21日	第1回損害評価会（テレビ会議）、第1回損害評価会農畑作物共済部会
6月29日	第4回理事会
7月8～19日	定時内部監査
7月15日	組合獣医師合同採用試験（Web面接）
7月30日	臨時内部監査
8月4日	第2回自動車事故処理委員会、第2回監事会、第5回理事会
8月20日	根釧酪農ビジョン推進会議幹事会第1回部会（テレビ会議）
8月26日	新規獣医師追加採用試験（Web面接）
8月27日	北海道内獣医学系大学とNOSAI団体との連絡協議会（テレビ会議）
8月30日	第2回役員協議会
9月1日	定時内部監査
9月10日	獣医師（追加）採用試験（Web面接）
9月15日	第2回余裕金運用管理委員会、第6回理事会
9月16日	業務職員採用試験（Web面接）
9月21日	人工授精師（追加）採用試験
9月28～30日	臨時監査
10月4日	第3回監事会
10月21日	第7回理事会、第3回役員協議会
10月26～27日	定時（中間）監査
10月29日	第4回監事会
11月8日	第2回損害評価会農畑作物共済部会
11月9日	第4回役員協議会
11月15日	第3回余裕金運用管理委員会、第8回理事会、第3回自動車事故処理委員会
11月17～19日	役員視察研修（新潟県）

年 月 日	付 議 事 項
11月19日	第2回北海道しゃくなげ会役員会（テレビ会議）
11月30日	関東獣医系大学連絡協議会（テレビ会議）
12月6日	第3回損害評価会農畑作物共済部会
12月8日	第5回役員協議会
12月10日	事業連絡協議会（テレビ会議）
12月16日	第2回共済事業推進協議会会長会議、業務職員（追加）採用試験（Web面接）
12月17日	第1回損害評価会家畜共済部会
12月23日	第4回損害評価会農畑作物共済部会
12月24日	人工授精師（追加）採用試験、獣医師（追加）採用試験（Web面接）
12月28日	第9回理事会 獣医師（追加）採用試験（Web面接）
令和4年	
1月7日	人工授精師（追加）採用試験
1月11～14日	定時内部監査
1月17日	獣医師（追加）採用試験（Web面接）
1月24日	第6回役員協議会
1月24日	第10回理事会
1月26日	定時内部監査
2月1日	定時内部監査
2月1日	第3回共済事業推進協議会会長会議（テレビ会議）
2月2～4日	基幹組合員会議（テレビ会議）
2月10日	第4回余裕金運用管理委員会、第11回理事会、第4回自動車事故処理委員会、第5回監事会、
2月10日	獣医師（追加）採用試験（Web面接）
3月1日	定時内部監査
3月2日	定時内部監査
3月8日	第12回理事会
3月8日	第7回役員協議会
3月8日	第5回自動車事故処理委員会
3月23日	第13回理事会
3月25日	臨時監査
3月25日	第6回監事会（標茶）
3月29日	第10回臨時総代会（標茶）
3月31日	退職辞令交付

## (2) 総代会

### ア. 通常総代会（令和3年5月28日）

総代会日現在総代数	A	114人
本人出席	B	3人（出席率 $B/A=2.6\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		84人
出席者計	C	87人（出席率 $C/A=76.3\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 令和2年度 業務報告書の承認について 2. 合併の承認について 3. 合併予備契約及び覚書の締結について 4. 設立委員の選任について 5. 特定組合設立契約の締結について 6. 令和3年度 事業計画の設定について 7. 令和3年度 事務費賦課額について 8. 本組合役員、損害評価会委員等報酬の承認について 9. 特別積立金の取り崩しについて 10. 借入金の最高限度について 11. 事業規程の一部変更について 12. 損害評価会委員の選任について 13. 役員退任慰労金の支給について		

### イ. 臨時総代会（令和4年3月29日）

総代会日現在総代数	A	112人
本人出席	B	6人（出席率 $B/A=5.4\%$ ）
代理出席		0人
書面出席		75人
出席者計	C	81人（出席率 $C/A=72.3\%$ ）
重要な議事及び議決事項 1. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について 2. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について 3. 事務費賦課単価の設定について 4. 役員退任慰労金の支給について		

## (3) 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
2,053人	2,010人	△43人

## (4) 役職員その他

## ア. 役職員

(令和4年3月31日現在)

理 事 (定数6人)			監 事 (定数3人)	合計
常勤 0人	非常勤 5人	計 5人	3人	8人

性別	業 務 専 任 職 員 (人)						事業センター・診療所等職員 (人)						合 計 a + b (人)
	参 事	副 参 事	総 務 部	内 部 監 査 室	事 業 部	小計 a	業 務	獣医師		人工授精師		小計 b	
								損 防 検 診 室	事 業 セ ン タ ー 等	事 業 部	事 業 セ ン タ ー 等		
男	1	1	7	1	14	24	19	3	133	1	21	177	201
女			4		7	11	28		53		7	88	99
計	1	1	11	1	21	35	47	3	186	1	28	265	300

## イ. 総代、損害評価会委員、損害調査員、共済連絡員

(令和4年3月31日現在)

総代 (定数 114人)		損害評価会委員			損害調査員	共済連絡員
選出(選挙)区数	総代数	委員数	家畜 部会	農畑 作物 部会	委員数	委員数
6区	112人	18人	12人	6人	344人	340人

<組合等名：オホーツク農業共済組合>

(1) 重要な処理事項

年 月 日	付 議 事 項
令和3年	
4月22日	第1回余裕金運用管理委員会
4月22日	第1回理事会
4月22日	第1回自動車事故処理委員会
4月26日	第1回監事会
4月26～27日	決算監査
5月11日	合併予備契約調印式（札幌）
5月28日	第2回理事会
5月28日	第14回通常総代会
6月23日	第1回損害評価会農畑作共済部会
7月1日	収入保険説明会（相内）
7月2日	収入保険説明会（上常呂）
7月5日	収入保険説明会（北見）
7月12日	人工授精師採用面接（Web）
7月15日	獣医師採用面接（Web）
7月19日	収入保険説明会（美幌・端野）
7月20日	収入保険説明会（えんゆう）
7月21日	収入保険説明会（常呂・北見）
7月26日	第2回余裕金運用管理委員会
7月26日	第3回理事会
8月24日	階層別コンプライアンス研修（係長、主任）
9月13日	階層別コンプライアンス研修（一般職）
10月4～5日	中間 診療所監査
11月1日	共済部長会議（北見・訓子府・置戸）
11月2日	共済部長会議（佐呂間）
11月4日	共済部長会議（湧別・遠軽・常呂）
11月5日	第2回損害評価会農畑作共済部会
11月8日	第3回余裕金運用管理委員会、第4回理事会
11月15～16日	第2回監事会 9月期中間監査
11月15～16日	中間監査9月期
11月16日	階層別コンプライアンス研修会（管理職）
11月17日	共済部長会議（雄武・興部・紋別）
11月18日	共済部長会議（女満別・網走・東藻琴・小清水・斜里・清里）
11月19日	共済部長会議（津別・美幌）
12月8日	第3回損害評価会農畑作共済部会
12月10日	第5回理事会
12月10日	第1回役員協議会
令和4年	
1月7日	第4回損害評価会農畑作共済部会
1月7日	第1回損害評価会家畜共済部会
1月14日	第3回監事会 臨時監査
1月14日	第6回理事会
1月14日	第2回役員協議会
1月14日	階層別コンプライアンス研修（役員）
1月19日	第1回家畜診療所運営委員会
1月21日	第4回余裕金運用管理委員会
1月21日	第7回理事会
1月21日	第4回監事会
1月21日	第3回役員協議会
2月2日	地区別懇談会（雄武・興部・紋別）
2月2日	地区別懇談会（女満別・東藻琴・網走）
2月3日	地区別懇談会（北見地区）
2月3日	地区別懇談会（小清水・斜里・清里）
2月4日	地区別懇談会（湧別・遠軽）
2月4日	地区別懇談会（常呂・津別・美幌）
2月28日	第5回損害評価会農畑作共済部会
3月4日	第8回理事会

年 月 日	付 議 事 項
3月18日 3月24～25日 3月25日 3月25日	第17回臨時総代会 期末 診療所たな卸し監査 第5回監事会 第9回理事会
組合主催講習会等 令和3年 7月19日 10月15日	訓子府酪農振興会講習会（BVD、サルモネラ、マイコプラズマ性乳房炎） JA北オホーツク組合員（戦略的牛群改良と超音波診断について）

## (2) 総代会

### ア. 通常総代会（令和3年5月22日）

総代会日現在 総代数	A	80人
本人出席	B	4人（出席率 B/A=5%）
代理出席		0人
書面出席		75人
出席者計	C	79人（出席率 C/A=99%）
重要な議事及び議決事項 1. 令和2年度業務報告書の承認について 2. 合併の承認について 3. 合併予備契約及び覚書の締結について 4. 設立委員の選任について 5. 特定組合設立契約の締結について 6. 令和3年度 事業計画の設定について 7. 役員退任慰労金の支給について 8. 令和3年度 事務費賦課額及び徴収方法について 9. 役員、損害評価会委員等報酬の承認について 10. 事業規程の一部変更について 11. 農業共済事業のニーズ調査結果について 12. 付帯決議の承認について		

### イ. 臨時総代会（令和4年3月22日）

総代会日現在総代数	A	79人
本人出席	B	0人（出席率 B/A=0%）
代理出席		0人
書面出席		75人
出席者計	C	75人（出席率 C/A=95%）
重要な議事及び議決事項 1. 畑作物共済危険段階別共済掛金率の設定について 2. 果樹共済危険段階別共済掛金率の設定について 3. 農作物共済（麦9類・六条大麦）の事務費賦課単価の設定について 4. 家畜共済の事務費賦課単価の設定について 5. 畑作物共済（ホップ）の事務費賦課単価の設定について 6. 果樹共済の事務費賦課金単価の設定について		



(3) 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増減
3,664人	3,630人	△34人

(4) 役職員その他

ア. 役職員

(令和4年3月31日現在)

役員数	理事(定数11人)							監事(定数3人)		合計		
	常勤 0人		非常勤 11人		計 11人			3人		14人		
職員数	項目	専任職員										
		業務専任の職員						家畜診療所の職員			計	
	性別	参事	内部監査室	総務	農作	家畜	支所業務	小計 A	獣医師	授精師	小計 B	A+B
		人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
	男	1	1	6	18	9	5	40	(1) 76	(1) 36	(2) 112	(2) 152
	女			3	6	9	8	26	35	14	49	(0) 75
	計	1	1	9	24	18	13	66	(1) 111	(1) 50	(2) 161	(2) 227

注) 職員数( )は準職員を示し内数とする。

イ. 総代、基幹組合員

(令和4年3月31日現在)

総代(定数80人)		損害評価会委員	家畜診療所 運営委員	損害評価員	事業推進 委員	共済部長	
選挙区数	総代数					集落数	人数
区	人	人	人	人	人	集落	人
4	79	16	12	89	80	452	396

<組合等名：北海道農業共済組合連合会>

(1) 重要な処理事項

ア. 理事会

年 月 日	付 議 事 項
令和3年 5月19日	第1回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和2年度第4四半期のリスク管理状況 2. 令和3年度の職員採用 3. 損害評価会委員並びに損害調査員の手当の支給 4. 損害評価会委員の補充選任 5. 損害調査員の任命 6. 令和3年度 内部監査計画書 7. 第73回通常総会の開催 8. 第73回通常総会の提出議件 9. 令和3年度余裕金運用に係る基本方針 10. 白石職員公宅A棟（屋根）並びに研修所本館冷暖房設備の改修工事の実施 11. 業務委託契約の締結 12. 固定資産の処分 13. 固定資産の取得
6月1日	第2回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 諸規則等の一部改正 2. 損害調査員の補充選任 3. 固定資産の処分
6月1日	第3回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 役員の報酬 2. 顧問の報酬
7月20日	第4回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和3年度第1四半期の事業計画等の執行状況等 2. 令和3年度第1四半期のリスク管理状況 3. 諸規則の一部改正 4. 特定組合管理系システム要件定義作成に係る入札の実施 5. 業務受委託契約の締結
9月17日	第5回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和3年度農業共済功績者の選考 2. 諸規則の一部改正 3. 江別職員公宅（室内）の修繕工事の実施 4. 業務委託契約の締結
10月27日	第6回理事会（19階会議室、札幌） 1. 令和3年度第2四半期の事業計画等の執行状況等 2. 令和3年度第2四半期のリスク管理状況 3. 令和3年度の職員採用 4. 令和3年度下半期における余裕金運用方針及び資金計画並びに余裕金運用計画 5. 諸規則の一部改正 6. 賃貸借契約の締結 7. 連合会損害調査員の退任に伴う記念品の贈呈 8. 特定組合管理系システム構築業務に係る入札の実施 9. 特定組合化に伴う組合員配布用粗品タオルの購入に係る入札の実施 10. 道農協労連（北海道NOSA I分会）からの要求書に対する回答 11. 業務委託契約の締結 12. 固定資産の処分 13. 固定資産の取得
11月11日	第7回理事会（19階会議室、札幌） 1. 特定組合化に伴う新組合ホームページ制作及び運用管理業務委託事業者選定に係る入札の実施

年 月 日	付 議 事 項
	2. 特定組合化に伴う新組合広報紙作成業務委託事業者選定に係る入札の実施 3. 特定組合基幹系システム用リモートデスクトップサービスクライアントアクセスライセンスの購入 4. 業務委託契約の締結
11月30日	第8回理事会（書面議決、札幌） 1. 諸規則の一部改正
12月21日	第9回理事会（19階会議室、札幌） 1. 特定組合化に伴う新組合広報紙作成業務委託事業者選定に係る総経費の変更 2. 特定組合で導入する複合機の入札の実施 3. 業務委託契約の締結
令和4年 1月26日	第10回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和3年度の職員採用 2. 諸規則の一部改正並びに制定及び廃止 3. 特定組合化に伴う各種封筒の製作に係る入札の実施 4. 特定組合管理系システム用Microsoft 365 E3の購入 5. 特定組合基幹系システム用ウイルス対策ソフトの購入 6. 業務委託契約の締結
2月24日	第11回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和3年度第3四半期の事業計画等の執行状況等 2. 令和3年度第3四半期のリスク管理状況 3. 令和3年度業務収支予算の変更 4. 役員退任慰労金の支給 5. 第75回臨時総会の開催 6. 業務委託契約の締結
3月10日	第12回理事会（テレビ会議、札幌） 1. 特定組合における作業服の購入に係る入札の実施
3月17日	第13回理事会（書面議決、札幌） 1. 令和4年度役員報酬 2. 第76回臨時総会の開催

## イ. 監事会及び監査

年 月 日	監 事 会 及 び 監 査
令和3年 5月20～21日	第1回監事会（テレビ会議、札幌） 1. 令和2年度内部監査の実施状況 2. 令和3年度監査方針並びに監査計画 3. 第1回定時監査の実施 4. 監査要領 5. 監査結果 6. 業務報告書に記載する監事の意見書等
10月27～29日	第2回監事会（本会会議室） 1. 令和3年度監査方針並びに監査計画 2. 令和3年度内部監査の実施状況等 3. 第2回定時監査の実施 4. 監査要領 5. 監査結果

ウ. 損害評価会

年 月 日	会 議 名 及 び 付 議 事 項
令和3年 7月19日	<p>損害評価会第1回農作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成31年産水稻品質方式（青色申告書等調査（申告期限等10～1月））連合会当初評価高（案）</li> <li>令和2年産水稻全相殺方式及び品質方式（青色申告書等調査（申告期限等2～5月））連合会当初評価高（案）</li> <li>令和2年産麦全相殺方式連合会当初評価高（案）</li> <li>コムギなまぐさ黒穂病に係る分割評価の取り扱い（案）</li> </ol> <p>損害評価会第1回畑作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年産畑作物共済（ばれいしょ、たまねぎ、全相殺小豆、全相殺いんげん及び地域インデックス方式等）連合会当初評価高（案）</li> </ol>
10月29日	<p>損害評価会第1回家畜共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>家畜が共済に付されていること、損害が共済事故によって生じたものであること及びその事故が特定事故によって生じたものであるかどうかの現地確認方法</li> <li>令和4年度に適用する家畜共済個体評価基準（案）</li> <li>令和4年度に適用する廃用家畜の肉皮等残存物価額に係る基準単価（案）等</li> <li>通常必要とする診療の範囲</li> <li>特定損害防止事業の実施上の重要事項について</li> <li>その他家畜共済の損害額の認定又は損害防止事業に関する重要事項</li> </ol>
11月18日	<p>損害評価会第2回農作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年産水稻全相殺方式及び品質方式（青色申告書等調査（申告期限等6～9月））連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産水稻連合会単当修正量（案）の算定結果</li> <li>令和3年産水稻一筆方式・半相殺方式連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産麦連合会単当修正量（案）の算定結果</li> <li>令和3年産麦半相殺方式連合会当初評価高（案）</li> </ol>
11月30日	<p>損害評価会果樹共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和3年産果樹共済（りんご）半相殺減収暴風雨・ひょう害方式連合会修正率（案）の算定経過</li> <li>令和3年産果樹共済（りんご）半相殺減収暴風雨・ひょう害方式連合会修正率（案）及び連合会当初評価高（案）</li> </ol>
12月1日	<p>損害評価会第2回畑作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年産畑作物共済（全相殺小豆・全相殺いんげん青色申告書等調査（申告期限等6～9月））に係る連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産畑作物共済連合会単当修正量（案）の算出経緯</li> <li>令和3年産畑作物共済（圃場調査に係るばれいしょ）に係る単当修正量（案）及び評価共済減収量（案）</li> <li>令和3年産畑作物共済（半相殺大豆・半相殺小豆・半相殺いんげん）に係る単当修正量（案）及び連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産畑作物共済（全相殺大豆4類及びホップ）に係る連合会当初評価高（案）</li> </ol>
12月14日	<p>損害評価会第3回農作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和3年産麦全相殺方式及び災害収入共済方式連合会当初評価高（案）</li> </ol>
令和4年 1月19日	<p>損害評価会第3回畑作物共済部会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年産畑作物共済[ばれいしょ・スイートコーン・たまねぎ（地域インデックス方式）]連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産畑作物共済[てん菜・スイートコーン・かぼちゃ（全相殺方式（出荷数量等調査））]連合会当初評価高（案）</li> <li>令和3年産畑作物共済（圃場調査に係る全相殺大豆・全相殺小豆・全相殺いんげん）に係る単当修正量（案）</li> </ol>

年 月 日	会 議 名 及 び 付 議 事 項
3月3日	損害評価会園芸施設共済部会 1. 「施設内農作物の病虫害分割割合基準」の見直し
3月7日	損害評価会第4回農作物共済部会 1. 令和2年産水稻全相殺方式（青色申告書等調査（申告期限10～1月））及び品質方式（青色申告書調査（申告期限10～1月））連合会当初評価高（案） 2. 令和3年産水稻全相殺方式（青色申告書等調査以外）、地域インデックス方式及び品質方式（青色申告書等調査以外）連合会当初評価高（案）
3月22日	損害評価会第4回畑作物共済部会 1. 令和2年産畑作物共済（全相殺小豆・全相殺いんげん青色申告書等調査（申告期限等10～1月））に係る連合会当初評価高（案） 2. 令和3年産畑作物共済[そば、大豆1類・3類（全相殺方式（出荷数量等調査））]連合会当初評価高（案）

## エ. 諸 会 議

年 月 日	処 理 事 項
令和3年	
4月14日	第1回農作事業運営研究会（テレビ会議、札幌）
4月16日	第1回農業共済事業等運営検討会（テレビ会議、札幌）
4月16日	第1回家畜事業運営研究会（テレビ会議、札幌）
5月6日	第2回農業共済事業等運営検討会（テレビ会議、札幌）
5月10日	第22回特定組合化推進委員会（テレビ会議、札幌）
5月12日	第1回組合内部監査担当者会議（テレビ会議、札幌）
5月13日	安心の未来拡充運動表彰北海道審査委員会（札幌）
5月14日	第2回農作事業運営研究会（テレビ会議、札幌）
5月14日	第2回家畜事業運営研究会（テレビ会議、札幌）
5月17日	第1回組織運営等研究会（テレビ会議、札幌）
5月19日	第1回余裕金運用管理委員会（テレビ会議、札幌）
6月1日	第1回設立委員協議会（テレビ会議、札幌）
6月1日	第1回設立委員会（テレビ会議、札幌）
6月2日	北海道農業共済組合設立に係る道内労働組合への説明会（テレビ会議、札幌）
6月9日	第1回組合家畜主任者会議（テレビ会議、札幌）
6月10日	第1回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
6月16日	第1回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
6月17日	第1回組合参事会議（テレビ会議、札幌）
6月18日	第1回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
6月23日	第1回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
7月1日	第1回設立委員会代表者会議（テレビ会議、札幌）
7月2日	新職員会発起人に対する北海道農業共済組合設立に係る説明会（テレビ会議、札幌）
7月6日	第2回設立委員協議会（テレビ会議、札幌）
7月7日	第1回組合農作主任者会議（テレビ会議、札幌）
7月7日	第2回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
7月9日	第2回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
7月14日	第1回組合総務主任者会議（テレビ会議、札幌）
7月16日	第2回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
7月20日	第2回余裕金運用管理委員会（テレビ会議、札幌）
7月21日	第3回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
7月30日	第4回設立委員会総務部会（テレビ会議、北見）
8月6日	第2回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
8月10日	第5回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
8月10日	第2回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
8月11日	第3回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
8月12日	第3回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
8月18日	第2回設立委員会代表者会議（テレビ会議、札幌）

年 月 日	処 理 事 項
8月20日	第6回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
8月31日	第7回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
9月1日	第3回設立委員協議会（テレビ会議、札幌）
9月3日	第1回設立委員会内部監査部会（テレビ会議、札幌）
9月6日	農業共済功績者表彰候補者選考会議（札幌）
9月8日	第4回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
9月9日	第3回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
9月10日	第3回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
9月13日	第1回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
9月16日	第4回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
9月16日	第8回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
9月17日	第3回設立委員会代表者会議（テレビ会議、札幌）
9月17日	第1回役員協議会（テレビ会議、札幌）
9月29日	第9回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
10月5日	第4回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
10月6日	第4回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
10月14日	第4回設立委員協議会（札幌）
10月15日	第5回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
10月19日	第10回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
10月20日	新組合に係る役員報酬審議委員会（札幌）
10月20日	第5回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
10月20日	第2回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
10月27日	第3回余剰金運用管理委員会（札幌）
11月4日	第5回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
11月5日	第5回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
11月5日	第11回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
11月9日	第6回設立委員会家畜部会（札幌）
11月10日	第2回組合参事会議（札幌）
11月11日	第5回設立委員協議会（札幌）
11月12日	第2回設立委員会内部監査部会（テレビ会議、札幌）
11月19日	第1回事業計画推進会議（札幌）
11月22日	第6回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
11月24日	第3回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
11月26日	第12回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
12月2日	第6回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
12月6日	第6回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
12月7日	第2回組合家畜主任者会議（テレビ会議、札幌）
12月7日	研修委員会（テレビ会議、札幌）
12月8日	第7回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
12月13日	第4回設立委員会代表者会議（札幌）
12月15日	第13回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
12月17日	第7回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
12月21日	第6回設立委員協議会（札幌）
12月21日	第2回役員協議会（札幌）
12月22日	第7回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
12月24日	第4回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
令和4年	
1月12日	第8回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
1月12～13日	第14回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
1月13日	第8回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
1月14日	第7回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
1月18日	第5回設立委員会代表者会議（札幌）
1月20日	第8回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
1月25日	第5回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
1月26日	第15回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）

年 月 日	処 理 事 項
1月27日	第7回設立委員協議会（テレビ会議、札幌）
1月27日	第2回設立委員会（テレビ会議、札幌）
1月31日	第3回設立委員会内部監査部会（テレビ会議、札幌）
1月31日	第8回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
1月31日	園芸施設共済加入推進会議（テレビ会議、札幌）
2月4日	コンプライアンス改善委員会（テレビ会議、札幌）
2月8日	第9回設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
2月9日	第9回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
2月9日	収入保険 令和4年度加入目標等推進会議（テレビ会議、札幌）
2月14～15日	第16回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
2月15日	第2回組合農作主任者会議（テレビ会議、札幌）
2月17日	第6回設立委員代表者会議（テレビ会議、札幌）
2月21日	第9回設立委員会人事部会（テレビ会議、札幌）
2月24日	第4回余裕金運用管理委員会（テレビ会議、札幌）
2月24日	第9回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
2月28日	第6回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
3月1日	第8回設立委員協議会（テレビ会議、札幌）
3月1日	第3回設立委員会（テレビ会議、札幌）
3月3日	第10回設立委員会家畜部会（テレビ会議、札幌）
3月3日	第17回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
3月10日	第3回役員協議会（テレビ会議、札幌）
3月10日	臨時設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
3月10日	第4回設立委員会内部監査部会（テレビ会議、札幌）
3月15日	第18回設立委員会総務部会（テレビ会議、札幌）
3月15～16日	新組合事業計画等推進会議（テレビ会議、札幌）
3月22日	第10回設立委員会農作部会（テレビ会議、札幌）
3月22日	臨時設立委員会事務局会議（テレビ会議、札幌）
3月28日	第7回設立委員会情報システム部会（テレビ会議、札幌）
3月30日	北海道農業共済組合役員予定者協議会（テレビ会議、札幌）

オ. 制度改善に関する事項

年 月 日	処 理 事 項
令和3年	
8月3日	第6回農業保険システムWeb化PT<参事クラス>（テレビ会議、東京）
9月22日	第7回農業保険システムWeb化PT<参事クラス>（テレビ会議、東京）
9月30日	農業保険システムWeb化PT<農畑>（テレビ会議、東京）
10月13日	農業保険システムWeb化PT<農畑>（テレビ会議、東京）
10月27日	第4回農業保険システムWeb化PT<農畑>（テレビ会議、東京）
11月19日	第5回農業保険システムWeb化PT<農畑>（テレビ会議、東京）
12月7日	第6回農業保険システムWeb化PT<農畑>（テレビ会議、東京）

カ. その他の処理事項

年 月 日	処 理 事 項
令和3年	
4月1日	辞令交付式（札幌）
4月13日	北海道・東北地区連合会等参事会議（テレビ会議、北海道）
4月22日	全国広報参事等会議（テレビ会議、東京）
4月23日	農水省主催 都道府県農業保険主管課長・参事会議（テレビ会議、東京）
4月28日	収入保険に係るテレビ会議<セールストーク研修会>（東京）
5月11日	北海道農業共済組合設立に係る合併予備契約締結式（札幌）
5月13日	北海道・東北地区組合連合会長等会議（テレビ会議、青森）
5月14日	収入保険推進協議会通常総会（札幌）
5月24～28日	NOSA I 協会主催 普及推進研修会<初級コース>（Zoom研修、東京）
5月28日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
5月31日 ～6月4日	NOSA I 協会主催 第1回広報技術研修会（Zoom研修、東京）
6月4日	農水省主催 令和3年度園芸施設共済の加入推進会議（テレビ会議、東京）
6月5日	農業共済事業に係る獣医師職員採用説明会（Zoom対応、NOSA I 協会）
6月7～11日	NOSA I 協会主催 中間指導職養成研修会（Zoom研修、東京）
6月8日	NOSA I 協会 令和2年度決算監査・第1回理事会（テレビ会議、東京）
6月8日	NOSA I 全国連 第1回定時監査・第1回理事会（テレビ会議、東京）
6月8日	令和4年度 業務職員採用面接試験（Zoom面接、札幌）
6月9～10日	農水省主催 家畜共済研修会（Zoom研修、東京）
6月14～18日	NOSA I 協会主催 第1回普及推進研修会<中級コース>（Zoom研修、東京）
6月17日	NOSA I 協会主催 新タブレット説明会（テレビ会議、東京）
6月18日	NOSA I 協会主催 収入保険担当者研修会（Zoom研修、東京）
6月24日	NOSA I 協会第138回通常総会（テレビ会議、東京）
6月24日	NOSA I 全国連第13回通常総会（テレビ会議、東京）
6月24日	第1回全国特定組合長・会長会議（テレビ会議、東京）
6月25日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
6月25日	NOSA I 全国連第13回通常総会決定事項に係るテレビ会議（テレビ会議、東京）
6月28日 ～7月2日	NOSA I 協会主催 第2回普及推進研修会<中級コース>（Zoom研修、東京）
6月30日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
7月1日	辞令交付式（札幌）
7月7日	第1回全国参事会議（テレビ会議、東京）
7月8日	北海道・東北地区果樹共済担当者会議（テレビ会議、秋田）
7月8日	農水省主催 園芸施設共済研修会（Zoom研修、東京）
7月9日	農水省主催 果樹共済研修会（Zoom研修、東京）
7月13日	北海道・東北地区農作物共済担当者会議（テレビ会議、北海道）
7月13日	NOSA I 協会主催 第1回初級管理職研修会（Zoom研修、東京）
7月14日	農水省主催 農業保険外交員研修会（Zoom研修、東京）
7月21日	北海道・東北地区畑作物共済担当者会議（テレビ会議、宮城）
7月27日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
7月28日	第1回農業保険加入推進連絡協議会（札幌）
7月30日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
7月30日	北海道・東北地区園芸施設共済担当者会議（テレビ会議、青森）
8月5日	NOSA I 協会主催 農業版BCP普及推進説明会（テレビ会議、東京）
8月5日	業務職員採用職場説明会（Zoom説明会、札幌）
8月17～20日	NOSA I 協会主催 システム運用管理者養成研修会<情報セキュリティ対策実践コース>（Zoom研修、東京）
8月20日	北海道・東北地区収入保険担当者会議（テレビ会議、福島）
8月25日	園芸施設共済に係るテレビ会議（東京）
8月27日	北海道内獣医学系大学とNOSA I 団体との連絡協議会（Zoom会議、札幌）
8月27日	収入保険に係るテレビ会議（東京）
9月1日	辞令交付式（札幌）
9月3日	北海道・東北地区参事会議（テレビ会議、山形）



年 月 日	処 理 事 項
9月8日	NOSA I 協会第3回理事会 (テレビ会議、東京)
9月8日	NOSA I 全国連第4回理事会 (テレビ会議、東京)
9月8日	第2回全国特定組合長・会長会議 (テレビ会議、東京)
9月8日	NOSA I 協会第139回臨時総会 (テレビ会議、東京)
9月8日	NOSA I 全国連第14回臨時総会 (テレビ会議、東京)
9月13日	NOSA I 全国連主催 第2回収入保険担当者研修会 (テレビ会議、東京)
9月14日	業務職員採用面接試験 (Zoom面接、札幌)
9月28日	辞令交付式 (札幌)
9月29日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
9月30日	辞令交付式 (札幌)
10月1日	辞令交付式 (札幌)
10月1日	令和4年度採用内定者説明会 (札幌)
10月4～8日	NOSA I 協会主催 第1回管理職養成研修会<前半> (Zoom研修、東京)
10月6日	第2回全国参事会議 (テレビ会議、東京)
10月20～22日	NOSA I 協会主催 第1回上級管理職研修会 (Zoom研修、東京)
10月21日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
10月22日	北海道・東北地区家畜共済協議会 (テレビ会議)
10月22日	令和3年度 第1回農作物共済地区連絡者会議 (テレビ会議)
10月26日	令和3年度 第1回事業運営検討会<収入保険関係> (テレビ会議、東京)
10月28日	北海道・東北地区 総務・経理担当者会議 (テレビ会議、山形)
10月28日	農水省主催水稲共済加入推進会議 (テレビ会議、東京)
10月29日	家畜共済掛金標準率等の一部改正に係る全国説明会 (テレビ会議、東京)
11月1日	園芸施設共済の加入推進に関する農水省との意見交換 (テレビ会議、東京)
11月4日	北海道・東北地区 参事会議 (テレビ会議、札幌)
11月5日	農林水産省主催法令等研修会 (テレビ会議システムによる研修、東京)
11月5日	園芸施設共済地区連絡者会議 (テレビ会議、東京)
11月8～10日	NOSA I 協会主催中堅獣医師講習会 (Zoom研修、東京)
11月10日	NOSA I 協会 第4回理事会 (東京)
11月10日	NOSA I 全国連 第5回理事会 (東京)
11月16日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
11月24日	辞令交付式 (札幌)
11月25日	「安心の未来」拡充運動令和3年度全国NOSA I 大会 (東京)
11月26日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
11月29日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
11月30日	獣医学部関東三大学との連絡協議会 (テレビ会議、札幌)
12月8日	農林水産省主催経理研修会 (テレビ会議システムによる研修、東京)
12月15日	第2回農業保険加入推進連絡協議会 (札幌)
12月16日	採用面接 (札幌)
12月22日	園芸施設共済損害評価に係る実務者協議 (テレビ会議、東京)
12月23日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
12月24日	令和3年度第1回拡大事業運営検討会<制度関係> (テレビ会議、東京)
12月27日	NOSA I 協会 第5回理事会 (東京)
12月27日	NOSA I 全国連 第6回理事会 (東京)
令和4年	
1月6日	辞令交付式 (札幌)
1月6日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
1月13日	加入推進に係る全国説明会 (テレビ会議、東京)
1月21日	給与辞令交付式 (札幌)
1月27日	都道府県農業保険制度関係担当者及び令和3年度農業共済組合連合会等総務・指導担当者合同会議 (テレビ会議・東京)
1月27日	令和3年度第2回農作物共済地区連絡者会議 (テレビ会議、東京)
1月31日	収入保険グループ会議 (テレビ会議、東京)
2月1日	辞令交付式 (札幌)
2月10日	北海道・東北地区参事会議 (テレビ会議、北海道)
2月15日	収入保険に係るテレビ会議 (東京)
2月15日	全国広報委員会議 (テレビ会議・東京)

年 月 日	処 理 事 項
2月15日	農業共済新聞全国研修集会（テレビ会議、東京）
2月16日	第3回全国参事会議（テレビ会議、東京）
2月21日	北海道・東北地区事務機械化担当者会議（テレビ会議、山形）
2月21～22日	家畜診療等技術全国研修集会（テレビ会議、東京）
2月22日	第2回園芸施設共済の損害評価に係る実務者検討会（テレビ会議、東京）
3月1日	辞令交付式（札幌）
3月11日	NOSA I 情報化全国会議（テレビ会議、東京）
3月17日	北海道収入保険推進協議会臨時総会（テレビ会議、札幌）
3月24日	第4回特定組合長・会長会議（東京）
3月24日	NOSA I 協会第140回臨時総会（東京）

## (2) 総 会

### ア. 通常総会（令和3年6月1日）

総会日現在会員数	A	5会員	左の議決権	5票
本人出席	B	2会員（出席率 $B/A = 40\%$ ）	左の議決権	2票
代理出席		3会員	左の議決権	3票
書面出席		0会員	左の議決権	0票
出席者計	C	5会員（出席率 $C/A = 100\%$ ）	左の議決権	5票
重要な議事及び議決事項				
<ol style="list-style-type: none"> <li>令和2年度業務報告書の承認について</li> <li>令和3年度事業計画の設定について</li> <li>令和3年度事務費賦課額について</li> <li>役員、顧問、損害評価会委員等報酬の承認について</li> <li>借入金の最高限度等について</li> <li>損害評価会委員の選任について</li> </ol>				

### イ. 臨時総会（令和4年3月10日）

総会日現在会員数	A	5会員	左の議決権	5票
本人出席	B	2会員（出席率 $B/A = 40\%$ ）	左の議決権	2票
代理出席		3会員	左の議決権	3票
書面出席		0会員	左の議決権	0票
出席者計	C	5会員（出席率 $C/A = 100\%$ ）	左の議決権	5票
重要な議事及び議決事項				
<ol style="list-style-type: none"> <li>令和3年度業務収支予算の変更について</li> <li>役員退任慰労金の支給について</li> <li>顧問報酬の変更について</li> </ol>				

ウ. 臨時総会（令和4年3月30日）

総会日現在会員数	A	5 会員	左の議決権	5 票
本人出席	B	2 会員（出席率 B/A = 40%）	左の議決権	2 票
代理出席		3 会員	左の議決権	3 票
書面出席		0 会員	左の議決権	0 票
出席者計	C	5 会員（出席率 C/A = 100%）	左の議決権	5 票
重要な議事及び議決事項				
1. 令和4年度役員報酬について				

(3) 会員の増減

年度始会員数	年度末会員数	増減
5	5	0

(4) 役職員その他

ア. 役職員

役員数	理 事						監 事			合 計				
	常勤 1 人		非常勤 6 人		計 7 人		3 人			10 人				
職員数	勤務場所	札幌市	札幌市 江別市	小計	札 幌 市							江別市	小計	合計
	種別	参事	役付		総務部	人事部	農作物部	家畜部	システム推進室	内部監査室	特定組合準備室	研修所		
	性別													
	男	人 1	人 27	人 28	人 6	人 5	人 9	人 5		人 2	人 2	人 2	人 3	人 34
女		1	1	1	2	3	4						10	11
計	1	28	29	7	7	12	9		2	2	2	3	44	73

- (注) 1. 再雇用職員を含み臨時職員を除く（年度末在籍者数）。  
 2. 職員数には、組合出向職員を含む。  
 3. 役付とは副参事、部長、所長、室長、次長、課長、課長補佐を示す。

イ. 損害評価会委員、損害調査員

損 害 評 価 会 委 員						損 害 調 査 員				
農作物	家畜	果樹	畑作物	園芸施設	合計	農作物	果樹	畑作物	園芸施設	合計
人 7	人 9	人 4	人 6	人 5	人 31	人 23	人 9	人 54	人 52	人 138

- (注) 合計員数は、兼務者を含む延員数である。